

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年8月10日

担当課	総務課		担当者職・氏名		主査 富岡京介	
施策名	人材マネジメントの推進					
施策に取り組む背景	人口減少の急速な進行をはじめ、デジタル社会の到来、ライフプラン多様化、大規模災害の増大など自治体を取り巻く情勢は大きく変化しており、行政課題に的確に対応する必要がある一方で、職員一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、育児等に取り組みやすい職場環境づくりなど多様な働き方を推進することも重要な課題となっている。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）		KGI5 （名称）			

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	17.5 %	現状値 1	26.7 %	達成率 1	152.6%
	目標値 2		現状値 2		達成率 2	
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	昨年度の13.4%を上回り、目標値を達成することができた。今後も適正な人員確保や効果的な職員研修に取り組み、市民サービスの質を向上させることで満足度を高めていきたい。				平均達成率	152.6%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	人材確保	889,350	KGI1	専門職員採用人数	人	1	1	100.0%
2	人材育成	2,024,000	KGI1	職員研修者数	人	232	275	118.5%
3	職場環境の整備	0	KGI1	男性の育児休業取得率	%	100	100	100.0%
4	職場環境の整備	0	KGI1	全職員の年次休暇取得12.0日以上	日	12.00	12.66	105.5%
5	女性活躍の推進	0	KGI1	女性の管理職登用率	%	20.0	23.8	119.0%
6								
7								
	施策内事業費計(R8)	2,913,350 円		KPI平均達成率				108.6%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	「人材確保」については、仙北市定員適正化計画に基づき、適正な人員確保を行うことができた。今後も試験方法や採用試験の周知方法を工夫し、応募者数を増やすことで優秀な人材の確保を目指していく。「人材育成」については、階層別研修や能力開発研修、細川政策支援アドバイザーによる人材育成研修への参加を通じて、引き続き職員の能力向上に努める。「職場環境の整備」については、年次休暇の取得状況を毎月確認し、職員の心身の健康のためにも計画的に取得することを引き続き促す。男性職員の育児休業率については、職場内で取得しやすい雰囲気醸成されてきており、順調に上昇している。今後も子どもが生まれた際に使用できる休暇等について情報提供していく。「女性活躍の推進」については、引き続き、意欲と能力のある女性職員がその力を最大限に発揮できるよう、積極的な登用を推進していく。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	市民の幸福度を向上させる施策の立案及び多様化する行政課題の解決のためには職員一人一人の業務に対する能力を高める必要があり、人材確保及び人材育成については重要な施策であると考え。また、適正な職員数を確保し配置することで職員のワーク・ライフ・バランスの向上につながり、年次休暇の取得促進、男性職員の育児休業取得率の上昇に繋がると考える。令和7年度に改訂を行った仙北市特定事業主行動計画、仙北市定員適正化計画及び仙北市人材育成基本方針に則って施策を進める。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	各課題とも目標数値を達成しており、評価は【V】。人員不足、業務多忙など課題についても、職員個人の能力向上が解決の手助けになると思われる。実務育成の研修への参加人数増加は良い傾向であり、今後は参加の片寄りを無くし、数値上昇に繋げたい。細やかな取り組み等大変と思うが、重要な施策であると思うので、数値の継続をお願いしたい。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	研修受講機会の更なる増加を行う。また、職場環境改善のため、特別職と若手職員との対話の機会を設けてほしい。上記について、新たにKPIを設定する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年7月24日

担当課	財政課		担当者職・氏名		課長補佐 草薨 拓也	
施策名	持続可能な行政基盤の確立並びに行政サービスの充実					
施策に取り組む背景	本市における近年の予算編成は、ふるさと仙北応援基金や財政調整基金の取崩しに頼ったものとなっており、外的要素により致命的な影響を受けるおそれがある。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	経常収支比率の改善（-2ポイント）（※ふるさと納税を除いた数値）	KGI2 （名称）	財政調整基金繰入額の縮小による基金現在高の確保（標準財政規模の 10%～20 %）	KGI3 （名称）	

達成水準（KGI）達成率	目標値1	95.4%（103.4%）	現状値1	95.1%（105.5%）	達成率1	100.3%（98.0%）
	目標値2	232,232万円	現状値2	191,157万円	達成率2	82.3%
KGI達成率に関する総括	KGI1は臨時的な歳入である「ふるさと仙北応援基金」を繰入れたことによる減少であり、今後は更なる財政の健全化を推進する必要がある。KGI2も同様である。				平均達成率	91.3%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	施策評価	4,151,000	KGI1	補助費等の縮小	百万円	528,200	545,500	96.8%
2			KGI1.2	財政調整基金繰入額の縮小	百万円	0	56,500	0%
3	事務事業評価	※No.1に同じ		※施策評価に同じ				
4	補助金評価	64,000		※施策評価に同じ				
5	業務量調査結果に基づく人員配置及び人件費の適正化		KGI2	時間外勤務手当の削減	千円	70,150	77,944	90.0%
6	第5次定員適正化（R7～R11）の推進							
7								
8								
9								
10								
11								
	施策内事業費計（R8）	4,215,000円		KPI平均達成率				62.3%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	持続可能な安定した財政運営を確保するため、臨時的な財源に依存しない財政構造を確立することが喫緊の課題であるが、性質別の歳出項目構成比で割合が高い補助費等の適正化を推進するため、施策評価、事務事業評価及び補助金評価を実施する。 また、業務量調査結果に基づく人員配置及び人件費の適正化により、総合的な業務時間と時間外勤務の削減を推進し、歳出のスリム化を図る。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度（市の考え）	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 （主管課の考え方）	仙北市の予算編成はふるさと仙北応援基金や調整基金の取崩しに頼ったものとなっており、外的要素により致命的な影響を受けるおそれがある。その危機的状況を克服するため、将来を見据えた持続可能な財政構造の確立のため、部局を超えて連携し、経常的経費の見直し実施は大変重要である。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大	○	現状維持		縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 （部課長等）	I	KPIはほぼ達成されているが、市民意識調査での満足度が低くなっている。持続可能な行財政構造を確立するためには、全庁的な共通認識のもと経常的経費の見直し等、部局を超えて連携し取り組む必要があるため【II】の評価が適当と考える。						
二次評価 （市長・副市長・教育長）	II	第3次行革大綱に係るKPIを新たに設定する。 行財政改革に係る各種評価等、市民への情報公開を積極的に行う。 補助金の適正化等、全庁的な見直しを図る。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年8月14日

担当課	総合防災課			担当者職・氏名	課長補佐 浅利 大輔	
施策名	消防体制の充実・防災体制の強化					
施策に取り組む背景	近年多発している豪雨災害をはじめ、本市特有の火山災害など各種事案に対応するため、消防団員の確保、災害時の情報伝達手段の充実等、災害対応の充実を図ることが必要であるが、消防団員が年々減少していることに加え、自主防災組織の結成率が伸び悩んでいる。					
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	消防団員数の維持	KGI2 (名称)	自主防災組織数	KGI3 (名称)	災害ボランティア登録数
	KGI4 (名称)					

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	404 人	現状値 1	383 人	達成率 1	94.8%
	目標値 2	40 組織	現状値 2	37 組織	達成率 2	92.5%
	目標値 3	38 団体	現状値 3	33 団体	達成率 3	86.8%
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	今後も少子高齢化等の人口減少により、現状維持すら困難になると思われる。そのため消防団員数の維持に関しては、団員数の目標値を下方修正する検討も視野に入れる必要があると考えられる。				平均達成率	91.4%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	新規団員募集活動	24,000	KGI1	新規団員募集活動回数	回	2	2	100.0%
2	災害・防災情報配信	9,374,200	KGI2	「@せんぼく」配信回数	回	500	609	121.8%
3	自主防災育成事業	129,000	KGI2	大規模訓練の実施回数	回	2	1	50.0%
4	自主防災育成事業	1,000,000	KGI2	町内会防災訓練・学習会の開催回数	回	3	5	166.7%
5	災害ボランティア団体募集活動	0	KGI3	災害ボランティア団体募集回数(R8, 4～)	回	12	0	0.0%
	施策内事業費計(R8)	10,527,200 円		KPI平均達成率				87.7%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	○消防団、自主防災組織ともに、高齢化が進んでおり、人員の確保に苦慮している。引き続き人員が不足しているが、どちらも重要な組織のため啓発活動を継続して行く。 ○R8活動予定 ・団員募集活動：8,10月予定 ・@せんぼく配信：随時 ・大規模訓練：7,10月予定 ・防災学習会：8月予定以降随時 ・ボランティア募集活動：毎月						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	○市民に対し消防団の活動・重要性を改めて啓発し、地域防災の要である消防団を存続させていくことが求められる。その基盤として現状の予算規模を保ちつつ、消防水利や車両等の老朽化対策に向けた改修予算を新たに捻出する必要がある。また団員数が減少して行く中で、現状の分団区分では地域の消防力に格差が生じる可能性があるため、今後、分団の統合・再編について検討する必要性が高まっている。 ○地域の助け合いや組織化の意義について積極的な発信を行い、自主防災組織の特色や設立効果の理解促進を図ると同時に、立ち上げた組織が円滑に活動を続けられるよう、今後も切れ目のない活動支援を実施していかなければならない。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	人口減少及び高齢化の進行に伴い、消防団員の確保が困難な状況が顕著化している。今後は、現行の団員数を維持しつつ、消防分団の統合・再編を早急に推進する必要がある。 自主防災組織数および災害ボランティア登録数の目標値設定については、現状に即して妥当と評価する。目標の確実な達成に向け、自主防災組織および災害ボランティアの果たす役割の大きさや、地域コミュニティにおける共助の重要性について、一層の周知徹底を図るべきである。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	火災や災害に対応できるあるべき消防団の体制を整備するため、消防団の組織改編を推進する。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月22日

担当課	税務課 収納推進課 固定資産税調査室			担当者職・氏名	税務課長 千田 千春	
施策名	課税の適正化及び公平な負担の実現					
施策に取り組む背景	財政の健全化に向けて適正な課税及び徴収を行う必要がある					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	目標収納率の達成 （普通税 現+滞）	KGI2 （名称）	滞納繰越額の圧縮	KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	96.10 %	現状値1	96.35 %	達成率1	100.3%
	目標値2	80,000,000 円未満	現状値2	99,000,220 円	達成率2	80.8%
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	納付勧奨や財産調査、滞納処分の実施により、目標収納率は現状で達成されている。しかし、滞納繰越額はまだ額が大きく圧縮できていない。現状の収納率の維持と、滞納繰越額の圧縮に向けて、継続して滞納整理を進めていく必要がある。				平均達成率	90.5%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	滞納処分の実施	31,000	KGI1,2	滞納処分件数	件	60	55	91.7%
2	財産調査の実施	219,000	KGI1,2	財産調査件数	件	300	108	36.0%
3								
4								
5								
6								
7								
	施策内事業費計(R8)	250,000 円		KPI平均達成率				63.8%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	適正課税に向け、各税目とも賦課誤りのないよう努めている。 徴収については、滞納者に対し納付勧奨、財産調査及び適正な滞納処分を実施した。財産調査件数の現状値は調査した人数で、達成率は36%だが、実際に調査した件数では約400件と目標値を超えている。担当職員の選挙併任業務によるマンパワー不足も実績が伸びなかった要因と考えている。収納率の目標は現状で達成されているが、滞納額圧縮に向けて粘り強く納付勧奨や財産調査を行い、収納率の維持、向上に努めたい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	市の運営にあたり自主財源である税収の確保は重要であり、それには適正な課税を実施し公平に負担してもらわなければならない。 収納率の維持向上に向けて、滞納者に対し納付勧奨を実施、場合によっては滞納処分を行い、税収の確保・税の公平負担に努める。 指標（KPI）の設定について、今後は現実的、意欲的な数値目標を考えていく必要がある。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	限られた職員数の中での大変な業務だと思います。No1.の滞納処分については職員の努力の賜物と考える。No2.については引き続き地道に取り組みをお願いしたい。いずれも、納税者との信頼関係を築きながら業務を遂行いただきたい。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	数値目標の是正が必要。今後も引き続き収納率向上に努める。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年8月5日

担当課	総合情報センター			担当者職・氏名		館長補佐 明平英晃	
施策名	行政手続きのＤＸ推進						
施策に取り組む背景	人口減少と少子高齢化で職員も減る一方で業務は複雑化しており、紙と対面中心のやり方では市民が満足する行政サービスの維持が困難なため、行政手続きのオンライン化が不可欠となっている。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	22.5 %	現状値1	38.3 %	達成率1	170.2%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	目標値は達成したが、今後も市民ニーズの把握に努め、さらに満足度を高められるよう施策を展開したい。				平均達成率	170.2%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	電子申請システム共同利用負担金	712,800	KGI1	オンライン化した手続きの数（累計）	件	54	67	124.1%
2	コンビニ交付運営負担金（国保市民課）	2,218,741	KGI1	コンビニ交付可能な証明手続きの交付件数割合	%	19.0	17.0	89.5%
3	総合情報センター全体の取組	---	KGI1	DX化した事務・行政手続き（新規取組数累計）	件	6	9	150.0%
4								
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	2,931,541 円		KPI平均達成率				121.2%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	手続きのオンライン化について、KPIは累計値で達成済みのため、上方修正が必要である。コンビニ交付件数の増加についてはLINE等による周知で利用促進を図りたい。行政手続き等のDX化（新規取組件数）については、次年度以降も継続して目標値を達成できるよう努めたい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	市民の皆様が時間と場所を問わず手続きができる「オンライン化」の実現と、限られた資源で行政サービスの最大化を図るDX推進は、行政改革大綱を支援する本市の重要施策です。施策の進捗を測る指標としては「DX化した行政手続きの利用者数」を設定すべきと考えます。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	市民意識調査での重要度が、前年は「下」であったものの今年度では「中」となっており、市民の関心度が高まっている。今後も高齢化・人口減少に伴い職員の人員確保はさらに深刻な状態となることが見込まれ、行政手続きのDX化については重要度が増していくことが推測できる。市民が有用性を実感できるサービスを模索し、将来を見据えた施策及び利用者数等の把握に努めながら継続して実施する必要がある。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	II	DX化した取組等実績があるが、認知度が低い。実際にDX化した取り組みについて更なる周知を図る。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年7月7日

担当課	管財課			担当者職・氏名		公共施設政策監 草 薨 聡	
施策名	公共施設等マネジメントの推進						
施策に取り組む背景	公共施設に関し長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことで、財政負担を軽減・平準化する必要がある。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	公共施設の延床面積の削減	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	-10,720.0 m ²	現状値1	0.0 m ²	達成率1	0.0%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	第2期個別施設計画で、今年度は、田沢湖総合開発センター、旧田沢湖保健センター、武蔵野団地の除却、ハート・ハーブ館、ハート・グラスハウスの譲渡を予定している。 3施設の解体（-2,361m ² ）2施設の譲渡（-2,405m ² ）合計（-4,766m ² ）				平均達成率	0.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	庁舎整備事業費	109,078,000	KGI1	遊休財産の除却・譲渡の推進	件	5	0	0%
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	109,078,000 円		KPI平均達成率				0.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	公共施設を長期的な視点からマネジメントし計画実行することの必要性は認識しているが、有効な財源がないことから除却事業が進まず、機能集約や建て替えにより新しい施設が増えたため、公共施設の総延床面積は増加している。新たに施設を建設する際は、同様の機能を持つ既存施設の方向性を検討し、解体方針となった場合は、除却費用についても同時に計上する必要がある。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	限られた財源で有効なマネジメントを推進するにあたり、公共施設の見直しはもとより、対策優先順位を定め財源負担を軽減・平準化することは必須である。除却計画となっている施設の解体、譲渡を進めることで維持管理費を削減し、必要な施設への維持修繕に係る財源確保に努めるためにも重要度が高い施策と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	市民意識調査で重要度（中）となっているが、これは市民が市が抱える公共施設の実情に対して、十分な情報を持っていないことが原因と思われる。財政的課題はもちろんだが、市民感情としての除却への忌避感や抵抗感を、具体のメリットデメリットを説明しながら取り除きながら、本施策は着実に進めていく必要があると考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	I	公共施設の除却等を推進することができるよう、予算を拡大しながら成果の拡大を図る。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月22日

担当課	まちづくり課			担当者職・氏名		係長 佐藤 有紀	
施策名	移住定住の促進、空家活用および空家対策						
施策に取り組む背景	急激な少子高齢化による人口減少に対し若者流出に歯止めをかけるとともに、増加する空家対策が必要なため。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査で家族や知人に 移住定住を勧めたい（強く思 う・まあまあ思う）の合計値	KGI2 （名称）	社会増減数	KGI3 （名称）	市民意識調査で空家対策への 満足度（不満・少し不満）の 合計値	
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	30.0 %	現状値1	21.8 %	達成率1	72.7%
	目標値2	-152 人	現状値2	-120 人	達成率2	126.7%
	目標値3	45.0 %	現状値3	32.9 %	達成率3	136.8%
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括					平均達成率	112.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	移住体験推進事業（移住者の誘致）	7,696,000	KGI1,2	秋田県移住定住登録に登録した移住者数 15人／年	人／年	99	89	89.9%
2	定住対策推進事業	767,000						
3	定住促進奨励金	915,000						
4	移住応援助成金	3,750,000						
5	移住支援金・地方就職支援金【国交付金】	4,227,000						
6	結婚新生活支援事業【国交付金】	3,600,000						
7	地域みらい留学事業	3,602,000						
8	危険空き家対策事業	34,878,000	KGI3	補助金を活用して解体した空家数	件／年	35	31	88.6%
9				全空家に占める特定空家数（市ランクD・E相当）の数	件／年	284	332	85.5%
施策内事業費計(R8)		59,435,000 円	KPI平均達成率					88.0%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	県の移住定住登録を経た移住者数は、秋田県全体でR7年度は517世帯799名、仙北市で16世帯21名となり、ここ数年移住者数は増えているが、移住先として多くの自治体が選択肢となる中、本市を認知し、関心を持ってもらうためには、移住希望者に加え二地域居住や関係人口の創出・拡大を推進し、本市と関わるきっかけ（入口）を広く設けることが必要と思われる。空き家対策については、所有者への適正管理の啓発を行うとともに、解体撤去補助金の補助額を20万円から100万円に増額し空き家の解消支援に取り組んだ。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	人口減少への対応は本市の最重要課題であり、地域経済の活性化や地域コミュニティの維持、担い手確保にもつながることから、重点的に推進すべき施策と考える。加えて、空き家の増加は生活環境や防災・防犯上の課題となる一方、移住者の住まいとして活用できる重要な地域資源でもあることから、適正管理と利活用を一体的に進める必要があり、優先度の高い施策と考える。また、KGI1、KGI3でどの層がどのように思っているのか詳細を分析し、地域差、年齢差を把握した上で施策に取り組んでいくことが重要である。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	本施策の事業は、人口減少という課題解決に向けた取り組みの一つとして重要な位置づけの事業であるため【V】が妥当と考える。また、危険空き家になる前の対策はもとより、空家活用による移住定住対策の検討も必要と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	II	移住者の活動、魅力について市民の認知度が低い。移住者の実態を把握したうえで、活動実績について市民への更なる周知を図る。（移住者数、年齢など）社会増減数のうち移住者数等分析を行い、移住施策の成果状況について確認する。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月3日

担当課	企画政策課			担当者職・氏名		課長補佐 伊藤 潤秋	
施策名	若者が働けるまち・挑戦できるまちづくり						
施策に取り組む背景	急激な少子高齢化により仙北市の存続が危ぶまれている。新たな産業の創出と雇用機会の提供を通して若者の流出に歯止めを掛ける。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	社会増減数	KGI2 （名称）	社会増減率	KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	-152 人（2029）	現状値 1	-120 人（2025）	達成率 1	126.7%
	目標値 2	-0.62 %（2029）	現状値 2	-0.54 %（2025）	達成率 2	114.8%
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	社会増減数・社会増減率ともに、平均達成率120.7%と目標を上回る水準にあり、社会減の抑制が一定程度進んでいる。一方で、依然として社会減（-120人）は継続しており、KGI達成を確実なものとするためには、教育産業など新分野での雇用創出や高度外国人材の受入れを着実に進め、若者の定住・流入につながる取組を強化する必要がある。				平均達成率	120.7%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	インターナショナルスクール推進事業費	6,564,000	KGI1・2	インターナショナルスクール数	校	1	0	0.0%
2	高度外国人材等受入促進事業費	9,867,000	KGI1・2	ワンストップセンター利用数（累計）	件	82	86	104.9%
3	女性デジタル人材活躍推進事業	11,269,000	KGI1・2	デジタルこまち育成研修の受講者数（累計）	人	4	0	0.0%
4	地方創生推進	383,000	KGI1・2	国等交付金の採択数（2021年度からの累計）	件	18	17	94.4%
5								
6								
7								
8								
施策内事業費計(R8)		28,083,000 円		KPI平均達成率				49.8%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	インターナショナルスクールについて、KBH白岩校の準備が整っているものの社会情勢の変化により海外生徒の募集が困難との理由で、運営法人が開校時期を見送っているが、開校予定という事実自体が国際化に興味がある人材を惹き付けている。高度外国人材等の受入れについて、地元の若手企業が運営する仙北市グローバル雇用・創業ワンストップセンターの利用者数が順調に伸びている。女性デジタル人材の育成研修について、夏以降の開始となるため、現時点の達成率は0%である。インターナショナルスクールは、国家戦略特区としての優位性を活かして必要な支援を継続するとともに、順調に推移しているワンストップセンターの取組を軸に、市内企業と連携した高度外国人材の受入れをさらに拡大していく。女性デジタル人材の育成研修は、夏以降に着実に実施し、多様な人材が働けるまちづくりを推進する。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 （主管課の考え方）	本施策は、市の豊かな資源を観光だけでなく教育産業等の新しい分野に活かし、新たな雇用を創出することを目指すものである。併せて、市外から地域活性化に資する人材を呼び寄せて定住を促すとともに、市内の若者が就業環境等に希望を見いだせるようにすることで、社会減の抑制を目指している。以上の点から、意義深い施策であるといえる。一方、R8目標値であるインターナショナルスクール数1校、国等交付金の採択数18件は現実的ではなく、下方修正など見直しが必要と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大	○	現状維持		縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 （部課長等）	I	この項目に係る市民の満足度は低くなっているが、施策達成のために挙げられた事業は地域の教育力を高め、新たな産業の創出と多様な働き方の選択肢の拡大につながるものであり、経済と人材を引き寄せる起爆剤としての大きな可能性を秘めていることから、評価どおり【I】が適当と考える。						
二次評価 （市長・副市長・教育長）	V	引き続きインターナショナルスクールについては事業者との対話を行い、今後の目途を立てる。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月22日

担当課	企画政策課			担当者職・氏名		主事 長澤 結唯	
施策名	安定した歳入確保と歳出抑制						
施策に取り組む背景	財政調整基金の枯渇やふるさと納税頼みの予算編成からの脱却が必須。歳入・歳出両面から大胆な見直しを行う。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査 幸福度高 （7～10）の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	55.0 %	現状値1	44.6 %	達成率1	81.1%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	令和8年度の幸福度高（7～10）の割合は、目標値に対して一定の水準にはあるものの、市全体としては伸び悩みが見られる結果となった。また、世代や地域によって幸福度に差が見られることから、KGI達成に向けては、財政健全化により限られた財源を確保しつつ、幸福度が相対的に低い世代・地域の課題に応じた施策への重点配分や、既存事業の見直し・改善を進める必要がある。				平均達成率	81.1%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	法定外目的税（宿泊税等）の導入	0	KGI1	法定外目的税の導入を目的とした研究会等の開催回数	回以上	2	1	50.0%
2	ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費	936,794,000	KGI1	ふるさと納税寄付額	億円	41.0	39.6	96.6%
3	政策支援アドバイザー事業費	2,961,000	KGI1	事務事業評価等による見直し・改善数	件	0.25	0.23	92.0%
4								
5								
6								
	施策内事業費計(R8)	939,755,000 円		KPI平均達成率				79.5%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	ふるさと納税は県内トップクラスの寄附額を確保しており、市の重要な財源として成果を上げている。一方で、総務省による制度改正が毎年度のように行われており、ふるさと納税に過度に依存せず、他の歳入確保や事務事業評価等による歳出見直しを進める必要がある。宿泊税については、新たな自主財源として有効な手法であるが、事業者への影響や反発も想定されるため、拙速に進めることはできない。今後は、研究会等を適切な時期に実施し、関係者の理解を得ながら導入に向けた検討を着実に進める。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	本施策は、安定した市民サービスを将来にわたり提供していくための財政基盤を確立するものであり、市政運営全体を下支えする重要な施策である。ふるさと納税に過度に依存しない歳入構造への転換、宿泊税を含む新たな自主財源の検討、事務事業評価等による歳出見直しを一体的に進め、限られた財源を市民の幸福度向上につながる施策へ重点的に配分していく必要がある。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	安定した財政運営は市政運営の根幹であり、本施策の重要度は極めて高い。今後は、順調に推移するふるさと納税に加え、観光客の受入環境整備や宿泊業の魅力向上を図り、地域経済の活性化と持続可能な観光振興の実現を目的とするための宿泊税の導入検討や、事務事業の見直しによる効果的な歳出配分をさらに加速させる必要があるため、評価は「V」となっているが、「Ⅱ」とすることが適当であると考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	宿泊税の導入に向けて関係箇所との検討を進める。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月22日

担当課	まちづくり課			担当者職・氏名		係長 佐藤 有紀	
施策名	公共交通の維持と利便性の向上						
施策に取り組む背景	人口減少に伴い、利便性と費用対効果のバランスを見極めながら、公共交通全体の在り方を見直す必要があるため。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「不満」と「少し不満」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	45.0 %	現状値1	50.5 %	達成率1	89.1%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	地域公共交通の維持・確保に一定の成果が見られ、今後も利便性向上に取り組む。				平均達成率	89.1%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	生活路線代替バス運行	65,840,000	KGI1	利用者一人当たりの運行コスト（市負担分）	円	1,550	1,780	87.1%
2	よぶのる角館運行事業費	31,402,000	KGI1					
3	生活バス路線対策費	47,017,000	KGI1	公共交通利用率（市民意識調査）	%	10.0	7.4	73.7%
4	秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金等	65,806,000	KGI1, 2, 3					
5				公共交通乗車促進イベントの実施	回	1	0	0.0%
6				市内公共交通機関の利用者数	人	56,051	50,881	90.8%
7								
8								
9								
10								
11								
	施策内事業費計(R8)	210,065,000 円		KPI平均達成率				62.9%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	生活交通（市民バス・デマンドタクシー）の利用数については人口の自然減・社会減により年々減少傾向ではあるものの、利用者目線に沿った停留所の追加など利便性向上に向けて取り組んだ結果、利用者数はほぼ横ばいとなった。今後は車両の小型化やデマンド化、運行の統合など利用実態に即した運行方法の模索を進め、支出の削減や効率化をすることが必要となってきた。また、公共交通乗車促進イベントは今年度からの目標となっており、デマンドタクシー等の利用を促進できるよう、乗り方などの周知も含めたイベントを検討していく。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 （主管課の考え方）	公共交通機関の維持と利便性の向上は、高齢化が進み今後免許返納者の増加が考えられる本市において、市民の生活水準や幸福度に関わる重要な施策の一つと考える。コストの削減とともにデマンド化など利便性の追求が求められる。また、地域公共交通計画の更新を進めつつ地域公共交通の成功例を研究し、KGI1の年齢、地域にわたる不満度の分析もあわせて行い、施策を進めていくべき対象を明確化していくことが重要である。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大	○	現状維持		縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 （部課長等）	Ⅳ	本事業は人口減少と公共交通の在り方の見直しが課題にある中でも、コストは最低限現状維持としても市民の利便性の向上に努める必要があることから【V】が適当と考える。（※KPI平均達成率を算出する際、イベントを1回（目標値1回）実施することで、大きく平均達成率が上昇し、1ポイントに対する割合が大きすぎるため、今回の平均値算出から除外してもよいと考える。）						
二次評価 （市長・副市長・教育長）	Ⅲ	公共交通の利用者が少なく満足度が低いため、満足度向上のための施策を進める。利用者が少ないところについては規模を縮小しながら成果を向上させる。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月22日

担当課	まちづくり課		担当者職・氏名		係長 佐藤 有紀	
施策名	男女共同参画・女性活躍の推進、市民協働による地域活性化					
施策に取り組む背景	幸福度や地域への愛着、誇りを高め、市民の誰もが暮らしやすい地域づくりをする必要があるため。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）	市民意識調査での問3（５～７）の”ある”の平均値	KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	30.0 %	現状値1	28.1 %	達成率1	93.7%
	目標値2	75.0 %	現状値2	72.8 %	達成率2	97.0%
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括					平均達成率	95.3%
目標達成に向けた取組は概ね順調に推移した。						

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	男女共同参画推進事業・仙北市女性の活躍推進事業	653,000	KGI1	男女共同参画社会という言葉を知っている人の割合（市民意識調査）	%	77.8	67.2	86.4%
2				市内民間事業所の管理職における女性の割合（県労働条件等実態調査抜粋）	%	31.6	30.5	96.5%
3				市内民間事業所の男性の育児休業取得の割合（県労働条件等実態調査抜粋）	%	51.3	50.0	97.5%
4	地域運営体事業	20,340,000	KGI1	市民活動等に関わった方の割合（市民意識調査）	%	23.0	21.5	93.3%
5	一般コミュニティ事業・自治総合センター	1,900,000	KGI2					
6	地域おこし協力隊事業	4,422,000	KGI2					
7	姉妹都市等交流推進事業	1,044,000	KGI2					
8	出会い・結婚支援事業費	290,000	KGI2					
9	地域カステップアップ事業	600,000	KGI2					
10				市長タウンミーティングの実施3回以上／年	回以上	3	0	0.0%
施策内事業費計(R8)		29,249,000 円	KPI平均達成率					74.7%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	男女共同参画に関する啓発活動やセミナー、イクボス宣言などを通じ、性別にかかわらず活躍できる環境づくりを図ったが、セミナー等に参加するのは既に男女共同参画・女性活躍に関心や知識がある方が多く、全く知らない・関心のない方を取り込む方法を検討する必要がある。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 （主管課の考え方）	性別にかかわらず誰もが個性と能力を発揮できる環境を整えるとともに、市民、地域団体、企業など多様な主体がまちづくりに参画し、協働して地域課題の解決に取り組むことが重要と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大	○	現状維持		縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 （部課長等）	Ⅳ	本事業は雇用における男女の均等な機会やF・F、地域運営体など地域における暮らしやすさに向けた重要な施策である。評価は【Ⅳ】となっているが、タウンミーティングの実績を反映させると94.7%となり、評価【Ⅴ】が妥当と考える。（※目標が数回という目標値の場合、1ポイントに対する割合が大きく、今回のような平均値を算出する際、他の指標とのバランスを考え、除外か、別途算出が適当と考える）						
二次評価 （市長・副市長・教育長）	Ⅴ	今後も引き続き施策を実施する。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月21日

担当課	こども家庭センター		担当者職・氏名		所長 新田目 留美子	
施策名	子育て支援保育の充実・母子（父子）福祉の充実					
施策に取り組む背景	保護者が子育てに不安や孤立を感じる事が無いよう相談援助体制を充実し、安心して仕事と育児の両立ができるよう、教育・保育の一体的な推進や経済的安定を図る。 ひとり親家庭の支援として、児童扶養手当、親の教育訓練等の受講費用の一部を支援する自立支援給付、親の不在等の家事支援として日常生活支援事業がある。また、母子生活支援施設入所者には自立に向けた支援を行う。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	子育て支援保育の充実の満足度（満足+やや満足の合算値）	KGI2 （名称）	「母子（父子）福祉の充実」の満足度（満足+やや満足の合算値）	KGI3 （名称）	

達成水準（KGI）達成率	目標値1	35.0 %	現状値1	40.7 %	達成率1	116.3%
	目標値2	30.0 %	現状値2	35.5 %	達成率2	118.3%
KGI達成率に関する総括	令和8年度の市民意識調査において、子育て支援関連の満足度は目標値に達している。				平均達成率	117.3%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標 (KPI)					
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率	
1	放課後児童対策事業費	161,248,000	KGI1,2	出生数	人	60	48	80.0%	
2	認可保育園等管理費・運営費	14,862,000	KGI1,2	仙北市で子育てをしたいと思う割合（市民意識調査問28・思う+まあまあ思うの合算値）	%	30.0	31.3	104.3%	
3	教育・保育施設給付費（私立運営の施設の補助金）	488,008,000	KGI1,2	社会福祉法人はなさき仙北補助金（減になることが目標）	千円	370,000	334,512	90.4%	
4	社会福祉法人はなさき仙北補助金	370,000,000	KGI1,2						
5	子育て支援拠点事業費（はっぴー・ママへ委託）	2,275,000	KGI1,2						
6	母子保健対策事業費（出生者に対しての健診等）	15,658,000	KGI1,2						
7	こども家庭センター運営事業費	5,080,000	KGI1,2						
8	妊婦のための支援給付事業費(妊娠届、出産届を行った妊婦等に給付金を支給)	6,541,000	KGI1,2						
9	家庭児童相談事業	119,000	KGI1,2						
10	子育てファミリー支援事業費(3子以上の子どもを養育している場合で就学前の子どもがいる保護者への補助)	1,621,000	KGI1,2						
11	すこやか子育て保育料助成費（私立の認定こども園の食費の自己負担無償化）	32,346,000	KGI1,2						
12	育児支援金給付事業費(1歳及び2歳児につき支援金を給付)	1,858,000	KGI1,2						
13	保育園入所待機児童等支援事業費補助金(待機児童の託児サービス利用料補助)	372,000	KGI1,2						
14	ひとり親家庭福祉事業費(相談、支援、自立支援教育訓練費の給付等)	5,048,000	KGI1,2	こども家庭センターへの相談件数	件	1,600	1,597	99.8%	
15	母子生活支援施設等入所措置費負担金	1,600,000	KGI1,2						
16	ひとり親家庭日常生活支援事業費（生活の安定のため家庭支援員を派遣）	242,000	KGI1,2						
	施策内事業費計(R8)	1,106,878,000 円		KPI平均達成率					93.6%

◆市民意識調査

満足度 (子育て支援保育の充実)	中	重要度 (子育て支援保育の充実)	上
満足度 (母子(父子)福祉の充実)	中	重要度 (母子(父子)福祉の充実)	中

◆コスト・手法判定

判定	指標 (KPI) の達成状況	達成 (上)		ほぼ達成 (中)	○	未達成 (下)	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	●こども家庭センターと関係機関との連携によって相談件数が増加し、支援の必要な家庭の早期発見に繋がっている。出生数は年々減少しているが、保育施設利用の低年齢の入所ニーズや放課後児童クラブの申込み率が高くなってきていることに加え、個別支援を要する子どもが増えてきており、保育士の確保に苦慮している。仕事と育児を両立できる体制をとるために保育士を確保し、現在待機児童はいないが、発生させないことが課題である。 ●保育園、放課後児童クラブ(小学校、角館児童館)の施設が老朽化しており、満足度に影響が出ないよう修繕費等の費用の増が見込まれる。 ●ひとり親の家庭の生活の安定に必要な不可欠なものとして児童扶養手当が定着しており、毎年8月には制度対象者約200人と面談を行い、生活状況や困り事の把握に努めている。No. 16、No. 17については、ひとり親のための施策及び子育て支援の各施策により、困窮状態にないため上記の事業を利用しなかったと考え、達成としたい。 ●出生数の目標は到達していないが、市民の子育て支援関連の満足度は達成していることから、こども家庭センターが担当している妊婦から出生後の支援については充足しており、引き続き各事業を実施していきたい。 また、子どもを産み育てる前段階の若者定住や雇用などの各部局の環境づくり事業の充足により、相乗効果での出生数増加につなげたい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	【子育て支援保育の充実】こども家庭センターは、家庭状況や児童の状況に合わせ、関係機関と連携しながら多角的にフォローしている。経済支援の各事業は、安心して子育てができる子育て支援対策として重要な事業と考える。 【母子(父子)福祉の充実】たくさんの事を一人で抱え込みがちなひとり親家庭の暮らし難さを軽減するためにも、面談等で子どもの成長や家庭状況の変化を把握し、必要な時期に必要な支援や制度・手続きの紹介などを行う事や相談先を示すことは、親子が安心で安全な生活を送ることに繋がる重要な支援である。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 (部課長等)	Ⅱ	「子育て支援保育の充実」「母子(父子)福祉の充実」とともにKGIは達成している。ただ、KGIや、KPI2「仙北市で子育てしたいと思う割合」は増加したものの、出生数そのものは減少しているため、KPIやKGIの整理が必要ではないか。 また、市民意識調査の結果では、「子育て支援保育の充実」「母子(父子)福祉の充実」とともに「分からない」が最も多い回答であるため、子育て世帯ではなく市民全体のアンケートとするのが適当な内容であるのか、また、市民全体に周知するべきとした場合は制度の更なる周知について、検討が必要と思われる。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅲ	はなさき仙北補助金は、コストを削減する余地がある。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年8月6日

担当課	市民福祉部 保健課			担当者職・氏名	課長補佐 伊澤貴子	
施策名	保健活動・健康づくりの推進					
施策に取り組む背景	全ての市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、健康対策を立てることで自分らしく健やかに健康寿命を延伸する健康づくりに取り組む。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）	自殺者0人を目指す	KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	55.0 %	現状値1	49.5 %（2026）	達成率1	90.0%
	目標値2	0 人	現状値2	6 人（2024）	達成率2	33.3%
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	目標値1については、現状値が前年より低下している。また目標値2は増減があるものの横ばいである。達成へ向け手法を検討する。				平均達成率	61.7%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	予防事業費・健康増進事業費	60,543,000	KGI1	健康を意識した何らかの取組をしていますか？（取り組んでいる）	%	56.0	55.6	99.3%
2	健康ポイント事業費	182,499	KGI1	健康ポイント事業参加者	人	220	206	93.6%
3	心の健康づくり・自殺予防対策事業費	2,547,000	KGI2	ゲートキーパー養成講座受講者数	人	100	95	95.0%
4								
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	63,272,499 円		KPI平均達成率				96.0%

◆市民意識調査

満足度	上	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上	○	中		下	
成果・課題等	KPIは年々達成率が上昇し、総合計画のR9目標値をほぼ達成しているが、KGI1現状値はR7（51.9%）と比較して低下している。事業対象者が高齢層へ偏りがあるため、全年齢層が満足できる事業展開が課題と考える。KGI2については、自殺者数が横ばいであることから相談先等の情報が全市民へ届くように広報手段を検討する。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	各種事業の実施は、住民の健康づくりへの意識の向上を目的としている。健康寿命延伸へ大きく影響し、市民の幸福度や医療費に直結することから、今後さらに注力すべきと考える。また、KPIが目標をほぼ達成していることから指標設定値の見直しを検討する。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	各事業については、市民の健康意識の醸成とともに健康寿命延伸に繋げる重要な施策でありKPIも概ね達成されているところではあるが、KGIの達成率との乖離が見受けられるため、各事業の実施にあたり周知方法や事業対象者のニーズ等を勘案のうえ事業への満足度が向上するよう見直しを図る必要があると思われる。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	ゲートキーパー養成講座について、全職員受講を目指す。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月23日

担当課	国保市民課			担当者職・氏名		課長 浅利 正幹	
施策名	社会保険制度（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業）の充実						
施策に取り組む背景	国民健康保険と後期高齢者医療の被保険者を対象とした事業を実施し、疾病の早期発見による医療費の抑制や疾病予防、健康への意識向上を図ることで一人当たりの医療費の上昇を抑える。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	一人当たり医療費	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	549,000 円	現状値 1	505,553 円	達成率 1	108.6%
KGI達成率に関する総括	目標値と比較して少ない数値であることが、達成できていることになる。 令和7年度においては、少ない数値であったが医療費は継続的に増加傾向であるので、増加幅を抑制できる施策を継続していく。				平均達成率	108.6%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	国民健康保険短期人間ドック助成費	3,780,000	KGI1					
2	後期高齢者医療短期人間ドック助成費	1,680,000	KGI1					
3	特定健康診査事業費	19,013,000	KGI1	特定健康診査受診率	%	41.5	41.0	99%
4	後期高齢者健康診査事業費	13,654,000	KGI1	後期高齢者健康診査受診率	%	21.00	24.05	115%
5	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業費	15,523,000	KGI1	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業訪問者数	人	130	245	188%
6				高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業通いの場参加者数	人	1,910	1,844	97%
	施策内事業費計(R8)	53,650,000 円		KPI平均達成率				124.6%

◆市民意識調査

満足度	上	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上	○	中		下	
成果・課題等	人間ドック助成金申請者は増加傾向にあるほか、特定健康診査の受診率も向上しているが、医療費増加抑制への効果が表れるまでは時間を要する。 被保険者の高齢化や、医療技術の高度化による医療の提供の結果としての高額となる医療費の増加を抑制することは困難であるが、その増加の幅を小さくするための事業を実施することで、健康への意識を継続できるかが課題となっている。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	被保険者が健やかな生活を継続できるため、疾病の早期発見、早期治療並びに健康への意識向上を図る事業の実施は重要であると考えます。 令和9年度以降は各種計画と連携しながら、目標値を修正していく。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持		縮小	○
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 (部課長等)	Ⅲ	仙北市の高齢者人口は一貫して増加を続けており、今後も高齢化が進むことが予想される中で、市民が住み慣れた地域で安心して生活していくために、疾病の早期発見・治療開始につなげることによる医療費の抑制や、疾病予防、健康意識を高めることで一人当たりの医療費の上昇を抑える必要がある。当該事業はそのための重要な施策である。よって、【Ⅲ】となっているが、【Ⅴ】として現状維持とすべき施策である。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅱ	KPI特定健診について、全国平均および同規模保険者平均と比較しても目標数値が低い。目標数値を上げる。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年8月5日

担当課	福祉政策課 長寿いきがい係			担当者職・氏名	主任 松田侑真	
施策名	高齢者福祉の充実					
施策に取り組む背景	高齢者の自立した生活を維持するため、複雑化・多様化している地域の生活課題に向けた地域住民、ボランティア団体、行政等による連携強化を行う。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	45.0 %	現状値1	42.5 %	達成率1	94.4%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	高齢者の満足度は年々増加傾向にあるため、事業の取り組みとしては成果が出ていると感じている。今後も満足度等の傾向については注視していきたい。				平均達成率	94.4%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	緊急通報装置給付・貸付事業	3,153,388	KGI1	緊急通報装置給付・貸付事業利用者数	人	50	49	98.0%
2	高齢者世帯等除雪支援事業	12,375,649	KGI1	高齢者世帯等除雪支援事業利用者数	人	430	407	94.7%
3	介護予防普及啓発事業	395,000	KGI1	介護予防普及啓発事業参加人数	人	310	395	127.4%
4	総合相談支援事業	1,122,000	KGI1	総合相談支援事業相談件数	件	2,000	2,430	121.5%
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	17,046,037 円		KPI平均達成率				110.4%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	高齢者の自立した生活維持のため、無理なく介護予防やフレイル（虚弱）予防を行うことは健康寿命延伸に一定の効果があるため、LINE・広報・民生委員・チラシ・地域の集いの場等を通して、多方面より事業内容の周知を図っている。今後も地域住民、ボランティア団体、行政等による連携強化を行い地域共生社会の実現を目指す。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	仙北市では高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しているため、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための高齢者支援事業や介護予防、自立支援・生活支援の施策は必要と考える。また、現状値の伸び具合から総合計画等で設定している指標の上方修正も今後検討する。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	目標値に対する達成状況や市民の満足度の状況から、各事業の成果について評価できる。一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加している当市において、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための高齢者支援事業や介護予防、自立支援・生活支援の施策は重要であり、引き続きコスト・手法について現状を維持すべきと考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年8月6日

担当課	福祉政策課			担当者職・氏名		課長補佐・佐藤 善文 課長補佐兼障がい福祉係長・門脇絵美	
施策名	低所得者福祉の充実						
施策に取り組む背景	市民からの相談は、生活困窮を始めとして健康・介護・子育て・借金・空き家など多岐にわたり、それらが複雑に絡み合い単独の課だけでは解決できず、多機関による連携が必要な事例が増えてきた。 経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなる恐れがある方に対して支援を行う必要があるため、最低生活の保障と自立の助長を図る。 障がい者（児）及び難病患者の経済的負担を減らすことで福祉の増進を図り、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように支援をする。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における「低所得者福祉の充実」の満足・やや満足の割合	KGI2 （名称）	重層的な相談数	KGI3 （名称）	生活相談において問題解決に向かった割合	
	KGI4 （名称）	経済的自立に向かった件数	KGI5 （名称）	市民意識調査における「障がい者（児）福祉の充実」における満足・やや満足の割合			

達成水準（KGI）達成率	目標値1	24.5 %	現状値1	24.2 %	達成率1	98.8%
	目標値2	25 件	現状値2	34 件	達成率2	136.0%
	目標値3	100.0 %	現状値3	46.7 %	達成率3	46.7%
	目標値4	20 件	現状値4	17 件	達成率4	85.0%
	目標値5	35.0 %	現状値5	37.8 %	達成率5	108.0%
KGI達成率に関する総括	単に金銭的な生活困窮だけでなく、様々な要因が絡み合い、相談内容も複雑化かつ高度化している。対応にあたる職員の知識・技術の向上や関係機関との連携が不可欠であるほか、つなぎ先としてのサービスや団体等の地域資源の不足も課題となっている。				平均達成率	94.9%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	重層的支援体制整備事業	13,223,000	KGI1,2	重層的支援会議件数	件	12	10	83%
2				生活困窮者支援等のための地域づくり事業で支援した団体数	件	8	-	-
3				広報、SNS等での制度周知	回/年	2	1	50%
4	生活困窮者自立相談支援事業	6,022,000	KGI1,3	相談件数	件	60	60	100%
5	生活保護事業	457,151,000	KGI1,4	受給世帯の減少	世帯	245	252	103%
6	被保護者就労支援事業	3,934,000	KGI1,4	被保護者就労支援者数	人	15	14	93%
7				保護廃止件数（引取りや収入増による）	件	7	5	71%
8	障がい者（児）タクシー利用券給付事業	1,785,000	KGI5	障がい者（児）タクシー利用券利用者数	人	170	151	89%
9	人工透析通院費支給事業	1,594,000	KGI5	人工透析通院費利用者数	人	32	30	94%
10	障害者等相談支援事業	7,198,000	KGI5	相談支援事業所数	箇所	2	1	50%
11	仙北市権利擁護センター事業	2,345,000	KGI5	権利擁護相談件数	件	21	16	76%
	施策内事業費計(R8)	493,252,000 円		KPI平均達成率				81.0%

◆市民意識調査

満足度 (低所得者福祉の充実)	中	重要度 (低所得者福祉の充実)	中
満足度 (障がい者(児)福祉の充実)	中	重要度 (障がい者(児)福祉の充実)	中

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	重層的支援体制整備事業、及び生活困窮者自立相談支援事業については、市広報への掲載など定期的な情報発信を行い周知徹底していく必要がある。また、生活保護について、受給世帯数は高齢の単身世帯が多いことから年々減少傾向にある。引取り・収入増による保護廃止件数は順調に推移しており、廃止には至っていないものの就労支援員の就労支援において就労や増収に繋がっているケースも見られ効果があがっている。 また、介護者の高齢化に伴い、障がい者が在宅で暮らすことが困難になるケースが増えてきており、在宅によるサービスの更なる充実が求められている。近年、身体障害者手帳の保持者が減少傾向にあるが、支援制度の周知について、広報紙掲載のほかにも社会福祉協議会と連携して周知に取り組んでいきたい。また、タクシー事業については、利便性向上のためデマンドタクシーやよぶのるも利用できるよう検討するなど、利用者アンケートを取って満足度の向上に繋げていきたい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	生活困窮者自立支援及び生活保護制度は、生活に困窮する方に対する重層的なセーフティネットであり、市民の幸福度向上に必要不可欠な施策である。相談支援業務では、民生委員や社会福祉協議会等と連携を図り、支援が必要な方々の拾い上げや相談しやすい環境等、市民に寄り添った相談支援体制を整備していく。複雑かつ高度化してきた相談内容に対応するべく、各種研修への参加や現任訓練による職員の知識向上も必要不可欠である。 また、「市民意識調査での重要度」が中であり、市民特に障がいがある方にとってはとても関心が高い施策である。まだ認知度が低いサービスもあるため、制度周知の手法を考え、障がいがある方の生活に沿ったサービスを提供できるよう、関係機関との連携強化を行う。また、障がい者に対する理解促進や差別解消に向けて、積極的な情報発信を行っていく。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	様々な要因が絡み合い、相談内容も複雑化かつ高度化している中で、対応職員の知識・技術の向上に努めており、KGI, KPI達成状況から、各事業について成果ありと評価できる。引き続き、関係機関との連携強化や市民への制度周知を図りながら、必要な方が必要なサービスを受けられるよう維持すべきと考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年8月14日

担当課	観光課		担当者職・氏名		主事 浅利 天夢	
施策名	観光誘客のプロモーション促進					
施策に取り組む背景	観光入込客数をコロナ禍前までの450～500万人、宿泊者数を50万人の水準に戻すため、引き続き観光誘客の取組を行っていく。					
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	観光入込客数の増加	KGI2 (名称)	観光消費額の増加（国内）	KGI3 (名称)	

達成水準（KGI）達成率	目標値1	500 万人	現状値1	387 万人	達成率1	77.4%
	目標値2	392 億円	現状値2	339 億円	達成率2	86.5%
KGI達成率に関する総括	他自治体の観光入込客数を勘案し、目標値の下方修正の検討が必要と捉えている。				平均達成率	81.9%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	観光宣伝事業	4,256,000	KGI1・2	No.1～12 観光協会公式HPページ ビュー数	万回	207	214	103.4%
2	3D連携を基軸とした交流拡大事業	148,000	KGI1・2					
3	人と地域を創生する観光誘客事業	0	KGI1・2	No.1,4,5,6 観光キャラバン等の実施回数	回	9	6	66.7%
4	(一社)田沢湖・角館観光協会補助金	25,000,000	KGI1・2					
5	刺巻ミズバショウ祭り補助金	900,000	KGI1・2	No.1～12 観光PR紙媒体配布数（パンフレット、ガイドマップ、リーフレット）	万部	8.5	7.9	92.9%
6	角館の桜まつり事業費補助金	16,750,000	KGI1・2					
7	たざわ湖・龍神まつり開催費補助金	2,930,000	KGI1・2	No.1～12 広告宣伝実施媒体数（新聞、フリーペーパー、雑誌、ウェブ、SNS）	回	9	7	77.8%
8	角館祭りのやま行事実行委員会補助金	500,000	KGI1・2					
9	抱返り紅葉祭開催費補助金	1,150,000	KGI1・2	No.1～12 公式SNSフォロワー数（X）	人	2,746	2,726	99.3%
10	上桧木内の紙風船上げ事業	3,877,000	KGI1・2					
11	角館の火振りかまくら事業費補助金	750,000	KGI1・2					
12	田沢湖高原雪まつり開催費補助金	950,000	KGI1・2					
13	田沢湖マラソン大会負担金	21,000,000	KGI1・2	No.13 田沢湖マラソン参加者数	人	3,432	3,412	99.4%
	施策内事業費計(R8)	78,211,000 円		KPI平均達成率				89.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	誘客活動をしているが、経費高騰等の外的要因でKGIを達成していない状況。SNSを利用し、限られた予算の中で効果的な誘客活動を実施していく。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	観光振興は、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図るとともに、持続可能な地域づくりに寄与する重要な施策だと考える。「Xをフォローしてくれた方にノベルティプレゼント」等でXのフォロワー数を増やし、認知度の向上に繋げ、訪れたいくなるような情報発信をしていきたい。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	秋田県はキャッチコピー「まだバれてない秋田県。」が成功し、来県者数が増えていると噂で聞きます。これに併せて県内の観光ハード面が強化されている訳ではない。キャッチコピーで観光客が増やせるなら、市もこれに大きな予算を投入すべき。「V」よりも「I」。他方、効果が望めない予算規模になるようなら、いっそのこと「IX」（予算をゼロ）にして「何もやらなかった年度」を敢えて生み出し、実績を分析してみるほうがいいと考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	観光客数は回復傾向にある。今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年8月14日

担当課	観光課		担当者職・氏名		主事 浅利 天夢	
施策名	質の高い観光地形成					
施策に取り組む背景	観光客の滞在時間を延ばし消費単価を上げるべく、他地域との差別化を図り、観光地としての質を上げる。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）	観光消費額の増加	KGI3 （名称）	観光客満足度の向上

達成水準（KGI）達成率	目標値1	30.0 %	現状値1	26.6 %	達成率1	88.7%
	目標値2	392 億円	現状値2	339 億円	達成率2	86.5%
	目標値3	45.00 %	現状値3	42.15 %	達成率3	93.7%
KGI達成率に関する総括	引き続き満足度の向上、お金を落としてもらえるような観光地づくりを目指し、事業に取り組んでいきたい。				平均達成率	89.6%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）					
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率	
1	観光施設整備事業	7,272,000	KGI1・2・3	No. 3, 5, 8 指定管理施設の修繕件数	件	3	1	33.3%	
2	観光施設維持管理事業	30,496,000	KGI1・2・3						
3	田沢湖キャンプ場管理運営事業	6,134,000	KGI1・2・3	No. 2, 4 市営駐車場の修繕件数	件	4	1	25.0%	
4	駐車場管理運営事業	25,251,000	KGI1・2・3						
5	駅前広場施設管理運営事業	11,675,000	KGI1・2・3	No. 2, 6, 9 自然ふれあい温泉館の修繕 件数	件	4	6	150.0%	
6	自然ふれあい温泉館維持管理事業	50,700,000	KGI1・2・3						
7	秋田駒ヶ岳登山利用適正化協議会 負担金	2,633,000	KGI1・2・3	No. 2 市営公衆トイレの修繕件数	件	11	6	54.5%	
8	管理運営事業	22,222,000	KGI1・2・3						
9	交付金・ガバメントクラウドファ ンディングの利活用	0	KGI1・2・3	No. 1, 7, 9 十和田八幡平国立公園・県 立自然公園地内の施設改修 件数	件	8	11	137.5%	
10									
11				No. 1, 7, 9 交付金・GCFの利活用によ る施設整備件数	件	2	1	50.0%	
12									
	施策内事業費計(R8)	156,383,000 円		KPI平均達成率					75.1%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	経年劣化と共に修繕件数が増えており、今後も増えていくことが見込まれる。大規模改修が必要になる前に、計画的かつ緊急度・観光客への影響度を考慮し優先順位をつけて修繕を行っていきたい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	受入環境を整えることで、観光客の満足度向上や地域経済の活性化に繋がる重要な施策と考える。観光客の満足度向上がリピーターに繋がり、仙北市にとっては好循環に結びつくものと考えており、受入環境の整備は最重要であると捉えている。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	消費単価を上げるには民の取組が必須。官は側面支援として、（これまでどおり）公衆トイレの美化向上であったり、地図アプリを補える程度の看板設置であったり、「V」が適当と考えるが、市内観光ハードの老朽化が著しい場合などは「IV」とし、成果維持のためにコストをかけるべき。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	市有施設の整備だけでなく、県有施設の整備について引き続き要請する。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年8月6日

担当課	交流デザイン課			担当者職・氏名		課長・伊藤 カオリ	
施策名	質の高い観光地形成（インバウンド）						
施策に取り組む背景	仙北市は東北を代表する観光地として多くの観光客が訪れている一方、滞在時間の短さ、立ち寄り型観光地、消費額の低さ等の課題を抱えており、他地域との差別化や観光地の質の向上が必要。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）	観光消費額の増加（国外）	KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	30.0 %	現状値 1	32.3 %	達成率 1	107.7%
	目標値 2	32.0 億円	現状値 2	16.0 億円	達成率 2	50.0%
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	令和8年度の市民意識調査の本施策における満足度については、目標値に対して達成率が高く、事業の効果が現れた形となった。※国外の観光消費額に関しては2025年値の県公表が8月下旬となっており、2024年値で目標の半分の達成率だが、国外観光客数が伸びているため、消費額も増えると予想。				平均達成率	78.8%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	国際観光宣伝・誘客事業	1,183,000	KGI1,2	訪日外国人宿泊者数	人	57,175	57,152	99.96%
2	ジャパンハウスを活用した宣伝誘客事業	0	KGI1,2					
3	台湾修学旅行誘致促進事業	999,000	KGI1,2	国際団体の受け入れ（台湾教育旅行含む）	件	9	9	100.0%
4	青少年国際交流事業	2,949,000	KGI1,2					
5	人と地域を創生する観光誘客事業	10,133,000	KGI1,2					
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	15,264,000 円		KPI平均達成率				99.98%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	・教育旅行を含む国際団体の受け入れ数は目標を達成した。 ・市内全体の宿泊者数はクマ出没が影響したため下がっているが、外国人宿泊者数は年々伸びており、目標を達成している。 ・旅行者の滞在時間、旅行消費額等を伸ばす取組が必要である。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	豊富な地域資源を活用した体験型観光の通年展開、都市農村交流、そして国際交流は、旅行者の消費額拡大のために滞在時間の延長が必要であり、今後も強化すべき重要な施策である。また、姉妹校やR9年に40周年となる姉妹湖、15周年を迎える温泉、マラソンなどの連携協定を通じた国際事業を推進する。本年締結した台北市政府教育局とのMOUも国際的視野を持つ人材育成に寄与すると期待される。多くの市民に国内外での活動に参加してもらうことで、地域における国際理解を深め、市民全体の幸福度向上につなげていく。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	教育旅行として、北海道や宮城より多くの修学旅行生の受け入れを行っている。また、国外からの受け入れも行っている。教育旅行としての学校は減少傾向にあるが、誘致活動を実施している地域に関しては現状維持の状態にある。また、国際交流を通じて市民を巻き込みながら地域活性化につなげている。これらを踏まえ、現状のコストにおいても誘致活動や関係団体と連携しながら一定の成果を残しており、現段階では現状維持でも良いと考えられる。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	II	更なる成果向上のため、目標数値を上げる。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月24日

担当課	交流デザイン課			担当者職・氏名		課長・伊藤 カオリ	
施策名	交流人口の拡大と特色ある観光						
施策に取り組む背景	グリーンツーリズムは、全国的にも先進地であり仙北市の観光の特色の1つであり、アフターコロナを踏まえた都市交流や国際交流の新しい展開を積極的に仕掛けていくことが必要。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	33.8 %	現状値1	31.3 %	達成率1	92.6%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
KGI達成率に関する総括	令和8年度の市民意識調査の本施策における満足度については、目標値に対して一定の水準にはあるものの、未達成の状況である。これまで以上に実施事業の広い周知が必須と考えられる。				平均達成率	92.6%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	グリーンツーリズム推進事業	1,493,000	KGI1	GT施設宿泊者数	人	18,675	16,686	89.3%
2	（一社）農山村体験推進協議会補助金		KGI1	教育旅行受入人数	人	15,000	13,953	93.0%
3	教育旅行支援事業	1,039,000	KGI1	宿泊者数	人	525,200	473,928	90.2%
4	リトリート推進事業	1,469,000						
5	人と地域を創生する観光誘客事業	10,133,000						
6	秋田アウトドアベース支援事業	0						
施策内事業費計(R8)		14,134,000 円	KPI平均達成率					90.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	・市街地へのクマ出没が増加したことにより、GT宿泊者数及び宿泊者数は目標値に届かなかった。 ・教育旅行受入においては、昨今の少子化の影響による児童生徒数の減少により実績値が低くなっており、今後も増加が見込めないことから現状維持の目標値としている。 ・リトリート推進事業では、モニターツアーの参加者が移住するという大きな成果があり、人と地域を創生する観光誘客事業では、トップセールスに同行して現地の旅行会社と商談した事業者がノウハウを身につけ、その後独自セールスを実施するに至った。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	特色ある観光の推進として進めるすべての事業は、交流人口や関係人口の拡大につながっている。なかでも、海外からの来訪者を増やすための宣伝活動等は、地域内経済の循環を図るうえで重要な施策である。引き続き、民間事業者をはじめとする市民に、国際理解の促進や経済効果が見込めるインバウンド事業へ積極的に参画してもらう。あわせて、SNSや市広報を活用した成果報告や情報交換の場を設け、市民意識の向上を図っていく。今後は受入れ者目線での指標設定を考えていく。旅行者向けには近年急増するクマ出没の情報周知を徹底する。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	GT宿泊者はクマの影響もあり若干減少したものの、外国人宿泊者数は増加傾向にあり、滞在時間の延長に寄与していると思われる。台湾や、タイなどの東南アジアの方々からの来訪者が半数を占めており、県も同地区へのプロモーションを展開している。ターゲットに向けたコストの在り方は現状維持よりも拡大が望ましいとは考えられるものの、現状のコストにおいても一定の成果を残しており、現段階では現状維持でも良いと考えられる。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	II	交流人口の拡大の重要性について広報等を活用し、市民に更なる情報発信を行うことで、更なる成果向上に努める。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月22日

担当課	文化財課			担当者職・氏名		課長補佐 佐々木美樹子	
施策名	歴史的文化遺産の保存と活用						
施策に取り組む背景	少子高齢化が進み所有者が個人で文化財を存続させていくことが難しい現状にある。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査の満足度の向上	KGI2 （名称）	市民意識調査における「わからない」の減少	KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	51.3 %	現状値1	38.7 %	達成率1	75.4%
	目標値2	28.8 %	現状値2	31.5 %	達成率2	91.4%
	目標値3		現状値3		達成率3	
KGI達成率に関する総括	市民意識調査の本施策に対しての「わからない」の減少については、目標値を達成しているが、本施策の満足度については、目標値に対して未達成の状況であるため、本施策に対してこれまで以上に広い周知が必須と考えられる。				平均達成率	83.4%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	文化財保存活用地域計画作成事業	2,486,000	KGI1・2	文化財修理件数	件	15	13	86.7%
2	桜保護管理事業	14,606,000	KGI1・2	施肥活動参加者数	人	90	60	66.7%
3	武家屋敷公開管理事業	15,860,000	KGI1・2	武家屋敷入館者数	人	152,000	124,000	81.6%
4	河原田家公開管理事業	17,658,000	KGI1・2	武家屋敷入館者数	人	152,000	124,000	81.6%
5	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業	14,515,000	KGI1・2	指定文化財数	件	195	194	99.5%
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	65,125,000 円		KPI平均達成率				83.2%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	現在、所有者個人で文化財を維持管理していくには負担が大きく、文化財を所有することで、それを活用し収入が増える施策が必要となっている。指定文化財数の維持（200件）を目標に掲げているので、指定候補物件のリスト化を図り、文化財保護審議会の意見を踏まえ、新たな文化財指定に繋げていかなければならない。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	文化財の保存を図ることで、その価値を知るために訪れる観光客の増加の一助にもなっているため、文化財修理の原則に則った保存を継続していく。市民意識調査による満足度・重要度の地域差・年齢差はほとんど見られなかったため、現在作成中の文化財保存活用地域計画が認定された後に、未指定文化財等の調査を行い、新たな文化財としての価値を示していきたい。また、角館樺細工伝承館や平福記念美術館などと連携しつつ、パンフレットなどを共有し、文化財の情報発信にも努めていくことが重要と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	少子高齢化による個人所有者の負担増を踏まえ、行政が主体的に文化財の保存・活用体制を構築していく意義は大きい。指定文化財の適切な維持と新たな指定候補の開拓を並行して進めるとともに、関連施設とパンフレットを共有するなど、連携した情報発信を図ることは、観光振興および周遊観光の観点からも有効である。今後は、保存活用地域計画の認定を前提に未指定文化財の調査を進め、その価値を広く周知していくことで、市民の理解と満足度を高めながら施策を継続して推進することが求められるため、現状維持とする。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅲ	武家屋敷・河原田家公開管理事業に係る職員配置の見直しなどによるコスト削減や、入館料の徴収による市負担の軽減を図りつつ、効果の向上が必要。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年7月22日

担当課	スポーツ振興課			担当者職・氏名		主事 伊藤 真美	
施策名	生涯スポーツの推進						
施策に取り組む背景	市民の心身の健康と体力づくりや地域コミュニティの強化を推進していくため、市民が手軽に様々なスポーツを楽しむことができる環境の整備、充実が必要。スポーツに関わる市民の数は人口減少もあり減ることが予想されるなかでも定期的に行う市民を増やしていく。						
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	市民意識調査 スポーツを定期的に行っている人の割合	KGI2 (名称)		KGI3 (名称)		
	KGI4 (名称)						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	35.0 %	現状値1	38.0 %	達成率1	108.6%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	市民意識調査の速報値より目標値の達成が図られた。更なるスポーツ習慣の定着を目指し、環境整備に取り組んでいく必要がある。				平均達成率	108.6%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	スポーツ推進委員派遣事業	1,257,000	KGI1	スポーツ推進委員派遣依頼があった市民スポーツ・レクリエーションの参加者数	人	500	480	96.0%
2	社会体育施設管理運営事業	50,164,000	KGI1					
3	スポーツ協会事業費補助金	2,431,000	KGI1	スポーツ協会会員数	人	1,000	1,081	108.1%
4	スポーツ少年団本部補助金	1,800,000	KGI1	スポーツ少年団団員数	人	280	394	140.7%
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	55,652,000 円		KPI平均達成率				114.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	スポーツ推進委員派遣事業について、スポーツ指導受講者数が微増となっていることはよい傾向である。更なる受講者の確保に向け、他部署と協力しながら事業の周知などに力を入れていく必要がある。また、人口減少・少子高齢化によるスポーツ協会会員数、スポーツ少年団団員数の減少が課題となっている。著しい減少を防ぐため、地域全体でスポーツ人口の拡大に取り組んでいく必要がある。 施設については、老朽化が進み修繕が必要な施設が増えてきている。大規模な改修等は財源の確保が難しいことから、その都度協議の上修繕を行い、各施設の継続的な利用を定着させていきたい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	生涯スポーツの推進は健康寿命を延ばすために必要な施策と考えられる。安心安全にスポーツに取り組むことができる環境整備も求められている。誰もが気軽に、安心安全にスポーツを楽しむことができる環境整備を維持していく必要がある。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	健康寿命を延ばすことは、大きく言えば健康であることにより医療費削減にもつながっていくと考える。とすれば、生涯スポーツの推進は重要な位置づけとなる。人口減少・少子高齢化によりスポーツ人口も減少しているといっても安全にスポーツができる環境を維持していく必要もあり現状維持とする。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	健康づくりの基本となる施策である。スポーツを定期的に行っている人の割合を増やすためのKPIの設定について再考する。市民がよりスポーツに触れることのできる機会を増やす取組を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月24日

担当課	農業振興課		担当者職・氏名	主任 大石 隆寛		
施策名	魅力ある農業の振興					
施策に取り組む背景	農業が魅力的でやりがいのある産業となるよう高収益化、効率化を推進していく。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	耕作面積（出荷目的の全品目）	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	4,100.0 ha	現状値1	4,044.2 ha	達成率1	98.6%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	農業者の減少・高齢化により担い手不足が課題となる中、農地集積の推進によって耕作面積は一定水準を維持している。引き続き、担い手の確保と経営規模の拡大への支援に努めるとともに、スマート農機による省力化・効率化、圃場の大区画化といった農業経営環境の改善を推進する。				平均達成率	98.6%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	夢ある園芸産地創造事業	23,407,000	KGI1	（No.1～2）重点作物作付面積	ha	89	85	95.5%
2	仙北市畑作園芸等振興事業	1,750,000	KGI1	（No.1～2）認定新規就農者数（2014からの累計）	人	20	19	95.0%
3				（No.1～2）農業法人数	組織	43	46	107.0%
4	農業用マルチコプター導入事業	3,480,000	KGI1	マルチコプター導入台数	台	39	33	84.6%
5								
6								
7								
施策内事業費計(R8)		28,637,000 円		KPI平均達成率				95.5%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	【重点作物作付面積】高収益を見込める重点作物の作付面積の拡大を目指したが、米価高騰に伴う主食用米への回帰傾向が強く面積は縮小した。現在の米価動向は一時的なものと捉え、中長期的な視点から引き続き取組を推進する。【マルチコプター導入台数】毎年度堅調な導入ニーズがあり、R8年度は特に希望者が多く、より多くの経営体を支援すべく1経営体当たりの交付額を調整して対応した。スマート農機を活用して農作業の省力化や効率化を図る経営体は着実に増加しており、継続的な支援に向けた安定的な予算獲得に努める。【新規就農者、法人数】新規就農者（新規就農事業活用者）は年1～2人の状況だが、引き続き事業を活用し確保と定着に努める。一方、新たに4法人が設立されたことから、今後も各種事業を有効活用し経営能力の高い経営体の育成に努め、法人設立の加速化に期待したい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 （主管課の考え方）	食料安全保障の確立や多面的機能を持つ農地・農村の維持は喫緊の課題である。農業従事者の減少、生産コストの増加といった深刻な課題を抱える中、地域農業を継承する持続可能で強い農業経営づくりは、単なる産業振興にとどまらない極めて重要な施策と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 （部課長等）	V	米価高騰に伴う主食用米作付けへの回帰が一時的に拡大したが、国によるコメの需給調整及び転作関連交付金の見通しが不確定であることも踏まえ、重点作物をはじめとするコメ以外の作付け支援施策の継続実施が必要。						
二次評価 （市長・副市長・教育長）	V	今後も引き続き施策を実施する。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月24日

担当課	農業振興課			担当者職・氏名		主事 田口 拓歩	
施策名	畜産の振興						
施策に取り組む背景	農業が魅力的でやりがいのある産業となるよう高収益化、効率化を推進していく必要がある。						
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	子牛及び肥育牛出荷頭数	KGI2 (名称)		KGI3 (名称)		

達成水準（KGI）達成率	目標値1	420 頭	現状値1	335 頭	達成率1	79.8%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
KGI達成率に関する総括	後継者不足による農家減少やコスト増による規模拡大の停滞によりKGIは未達だが、R7年度の法人設立が地域畜産業の起爆剤となることが期待される。今後は同法人の営農状況を踏まえた目標の見直しを図りつつ、小規模農家を含め引き続き支援を行う。				平均達成率	79.8%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	家畜導入事業	1,910,000	KGI1	肉用牛飼養頭数	頭	832	747	89.8%
2	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業	24,961,000	KGI1					
3	大覚野牧場管理運営事業	12,285,000	KGI1	大覚野牧場放牧頭数	頭	58	45	77.6%
4	仙北市堆肥センター管理運営事業	13,559,000	KGI1	堆肥センターでの家畜排泄物処理量	トン	2,269	2,006	88.4%
5								
6								
7								
8								
施策内事業費計(R8)		52,715,000 円		KPI平均達成率				85.3%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	【肉用牛飼養頭数】目標値は4年前の水準だが、畜産農家の減少や飼養コスト増により未達となった。現在の市場動向は繁殖農家に追い風な半面、肥育農家には更なるコスト高を招いており、全体としても厳しい経営環境にある。【大覚野牧場放牧頭数】草地改良事業の完了を受け、今後は草地を最大限に活用した優良乾草の生産に注力する。放牧頭数については畜産農家の経営状況に応じて変動するが、生産コストの削減などに向けて継続的に放牧を行うことを視野に入れた経営について働きかけていく。【家畜排泄物の処理量】堆肥センターは最小限の2人体制での運営や設備の不具合増加により、十分な受入ができていない。循環型農業の拠点として最大限活用できるよう生産堆肥の販売促進に努めるとともに、予算確保と適切な維持管理に一層取り組む。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	畜産業は食料安全保障を支えるだけでなく、堆肥を活用した資源循環や草地の保全など、地域環境を維持する重要な役割を担っている。生産コスト高騰など厳しい経営環境下にあるが、法人化を含めた強い経営体づくり、放牧による複合化の推進、循環型農業の拠点整備に加え、老朽化が進む関連施設の適切な更新・整備を進めていくことは不可欠であり、単なる産業振興にとどまらない極めて重要な施策と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	R7年度の法人設立により、地域畜産業の発展振興が期待されることから、同法人の営農状況を踏まえた目標の見直しを図り、小規模農家を含め引き続きの支援により、畜産の振興が必要である。循環型農業の推進のため、堆肥等生産物の更なる販売量（額）の増加に繋がる取り組みの改善が必要と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅲ	堆肥生産物について、販売量（額）に係る数値目標を設定し、更なる販売量（額）の増加に繋がる取組を推進する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月24日

担当課	農業振興課			担当者職・氏名		係長 三浦 亜里沙	
施策名	農業を担う人材の確保						
施策に取り組む背景	農業が魅力的でやりがいのある産業として若い世代に浸透し、次世代を担う農業従事者の拡大を後押しする施策の推進が必要である。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	地域計画に登載される地域内の農業を担う者の数	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	500 経営体	現状値 1	549 経営体	達成率 1	109.8%
	目標値 2		現状値 2		達成率 2	
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	地域農業を担う経営体数の増減は、農地の分散と集積のバランスを考慮する必要がある。現状は農業者の減少が進むものの、農地集積により全体の経営面積は一定水準で維持されている。今後は概ね500経営体の維持を当面の適正水準として各種施策を展開しつつ、状況変化に応じた目標水準の見直しも視野に入れていく。				平均達成率	109.8%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	秋田アグリフロンティア育成研修事業	2,400,000	KGI1	（No.1～3） 認定新規就農者数	人	20	19	95.0%
2	新規就農総合支援事業	15,000,000	KGI1	（No.1～3）農業法人数	組織	43	46	107.0%
3	地域で学べ！農業技術研修事業	1,800,000	KGI1					
4								
5								
6								
	施策内事業費計(R8)	19,200,000 円		KPI平均達成率				101.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	【認定新規就農者数】新規就農向けの研修・支援事業は毎年度1～2名が活用しており、引き続き同事業による担い手の確保・定着に努める。経営環境は厳しいものの、工夫次第で高い収益性が期待できる農業の魅力を積極的に発信していく。【農業法人数】農業法人数は着実に増加し、地域の経営基盤強化が図られている。認定農業者協議会等の研修などを通じて、法人化のメリット等について一層の周知を図る。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	農業者の減少や高齢化が進行する中、地域農業を担う多様な人材や法人の確保・育成は、あらゆる農業施策の基盤となる最も重要な土台である。持続可能で強い経営体づくりを後押しするこれらの支援は、次世代へ地域農業を継承するための極めて重要な施策と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	更なる農地の集約等によって法人経営体の経営規模の拡大を進める中で、従業員化（雇用）による新規農業従事者の増加は必要不可欠であり、経営者を目指す新規農業従事者も含めた若者に対する支援は必要である。なお、経営環境が厳しい中、工夫次第で高い収益性が期待できる農業の魅力を発信していくとあるが、その工夫について具体的に発信、かつ、経営者を交えて検討・試験・研究していくことも必要ではないか。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月23日

担当課	農林整備課			担当者職・氏名		新山 翔平	
施策名	土地改良の推進						
施策に取り組む背景	農業の担い手不足による地域農業の維持が困難となっているため、適切な維持管理が図られ、農業・農村の有する多面的機能が維持されるよう農地、農業用施設、農村環境の整備を進める。						
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	担い手への農地集積率	KGI2 (名称)		KGI3 (名称)		
	KGI4 (名称)						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	83.0 %	現状値1	79.1 %	達成率1	95.3%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	農地集積加速化基盤整備事業により、生産基盤の整備が着実に進んでいる。				平均達成率	95.3%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	農地集積加速化基盤整備事業・農地中間管理機構関連ほ場整備事業	11,898,000	KGI1	ほ場整備率	%	80.0	78.5	98.1%
2	多面的機能支払交付金事業	176,253,000	KGI1	組織対象農用地	ha	3,571	3,562	99.7%
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
	施策内事業費計(R8)	188,151,000 円		KPI平均達成率				98.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	事業導入により生産基盤の整備を進めることで、法人等の中心経営体が増え、地域農業の担い手育成やコスト抑制で農業経営の安定につながっている。事業を推進する上で負担額の増加が課題となっていく。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	中山間地において、農地の有効利用と産地づくりを推進するため不可欠な生産基盤の整備と併せ、既存の農地・農業用施設の維持保全が重要となるため事業継続が必要となる。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	農地集積加速化基盤整備事業により、ほ場整備率の達成率が98.1%と高い達成率を達成し、生産基盤の整備が着実に進んでいる。また、法人等の中心経営体が増加し、地域農業の担い手育成につながり農業経営の安定化に寄与しているが、担い手不足による地域農業の維持困難は継続しているため、事業継続が必要であり【V】は妥当と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	順調に整備は進んでいる。引き続きほ場整備の達成率100%を目指して施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月24日

担当課	農林整備課		担当者職・氏名		課長補佐兼林務係長 村岡耕平	
施策名	豊かな森林資源の整備と活用促進					
施策に取り組む背景	木材価格の低迷により、林業従事者の減少や高齢化が進み後継者不足となっていることから、担い手確保とともに、計画的な森林整備、林道等路網整備を進める。また、森林の管理放置は、鳥獣の個体数の増加につながり、農林作物や人的被害を招いているため被害防止に努める。					
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	林業就業者数	KGI2 (名称)	農作物鳥獣被害額の抑制	KGI3 (名称)	

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	220 人	現状値 1	210 人	達成率 1	95.5%
	目標値 2	150.0 万円	現状値 2	207.7 万円	達成率 2	72.2%
KGI達成率に関する総括	林業従事者数は、最新の国勢調査数値が出ていないため現状値は昨年度のままとなっているが、ここ数年は毎年、秋田林業大学校の研修生が出ておりKGIは達成できる見込みである。 鳥獣による農作物被害額は、年々減少してはいるものの、減少幅も狭くなってきているため、これまで以上に鳥獣被害対策を推進する必要がある。				平均達成率	83.8%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	林道維持補修費	108,684,000	KGI1	林道橋補修数	橋	7	5	71.4%
2	秋田林業大学校研修費補助金	476,000	KGI1	新規林業就業者（累計）	人	12	11	91.7%
3	人材育成・担い手支援事業費補助金	750,000	KGI1	林業経営体新規雇用者数（累計）	人	8	10	125.0%
4	再造林支援事業費補助金（植栽）	3,754,896	KGI1	再造林支援事業（単年植栽面積）	ha	10.0	6.4	64.0%
5	再造林支援事業費補助金（下刈）	1,407,249	KGI1	再造林支援事業（単年下刈面積）	ha	39.1	22.7	58.1%
6	鳥獣被害対策協議会補助交付金	1,500,000	KGI2	鳥獣被害対策実施隊員数	人	103	101	98.1%
7	ツキノワグマ捕獲用檻購入	3,339,600	KGI2	市所有クマ用檻数	基	50	40	80.0%
8								
9								
	施策内事業費計(R8)	119,911,745 円		KPI平均達成率				84.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	林業従事者数の拡大を目的とした人材育成・担い手支援事業、及び再造林支援事業については、着実に実績をあげており堅調である。併せて森林整備の促進を図るため林道等路網維持管理に努める。一方、イノシシやツキノワグマ等による鳥獣被害は後を絶たないため、対応する実施隊員の確保や捕獲用檻の購入を目標に向けて推進する。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	森林が伐期を迎えつつある中で、森林資源の多面的機能を維持させるには、森林施業にかかる所有者の費用負担の軽減に向けた支援事業の拡充が重要である。林業経営体が活躍できる環境の整備を継続する必要がある。鳥獣被害に対しては、IoT機器を活用し、隊員の負担を軽減するとともに、有害鳥獣駆除事業の効率化を図る。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	林業従事者数の拡大を目的とした人材育成・担い手支援事業は着実に実績をあげており、秋田林業大学校の研修生輩出により目標達成が見込まれる。森林資源の多面的機能維持と林業経営体の活躍環境整備の観点から、現状維持とし【V】が適当と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	II	林道整備等ハード面だけでなく、教育委員会と連携しながら木育を推進する等、ソフト面についても更なる推進を図る。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月24日

担当課	農業委員会、農業振興課、農林整備課			担当者職・氏名	農業委員会事務局長 小木田 満洋	
施策名	中山間地域及び耕作放棄地の有効活用					
施策に取り組む背景	離農や耕作条件不利など、耕作放棄地増加につながる要件が多い中、耕作者の確保や条件不利補正に努め農地の適切な維持管理とともに多面的機能の発揮を図る。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	耕作放棄地面積	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	28.0 ha	現状値1	33.8 ha	達成率1	82.8%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	農業者の減少により耕作放棄地増加のリスクが高まる中、担い手への農地集積により、離農のペースに比べ放棄地の拡大は一定程度抑制されていると見ている。今後は、農地をつなぐ農業委員等の役割がより一層重要になる。また、条件不利地においては効率的かつ収益につながる作物の選定・作付を行うことが、農地維持の重要な鍵となる。				平均達成率	82.8%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	農地利用最適化交付金	6,730,000	KGI1	担い手への農地利用集積率	%	80.0	79.1	98.9%
2	中山間地域等直接支払事業	11,132,000	KGI1	中山間事業と多面的事業の 取組面積	ha	3,571.2	3,657.3	102.4%
3	多面的機能支払交付金事業	170,651,000	KGI1					
4								
5								
6								
7								
8								
9								
	施策内事業費計(R8)	188,513,000 円		KPI平均達成率				100.6%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	【担い手への農地集積】担い手不足や耕作者の高齢化等により耕作放棄地が発生する一方で、そばの作付や作業受託を展開する法人により、解消に至った事例もある。【中山間、多面事業】地域の共同活動による対象面積は維持されているが、地域によっては今後の高齢化や担い手減少の進行に伴う取組の縮小が懸念される。農地を次世代へつなぐ農業委員等の役割が、より一層重要となる。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	中山間地域の農地を多く抱える当市において、担い手不足や高齢化が進む中での適正な維持管理は大きな課題である。中核となる担い手への農地集積を進めるとともに、地域に適した作物の作付や、多面的機能を有する農地・農村環境を保全する取組への支援は、持続可能な農業を未来へつなぐ極めて重要な施策と考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	農地の適正な維持管理においては、将来を見据えた継続的な支援が必要である。農業委員など関係機関と連携し、その地域の実情に応じた支援の取り組みが必要である。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

【様式2】
令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要記入年月日 令和8年7月14日

担当課	農林商工部 商工課		担当者職・氏名	係長 大山 隆誠	
施策名	商工業の振興				
施策に取り組む背景	・人口減少、高齢化の進行による需要縮小と人手不足 ・観光需要の季節偏在と回遊不足により、売上と雇用が不安定化 ・観光依存度が相対的に高く、小規模事業者数の比率が高い ・小規模事業者比率が高く、投資余力と生産性向上の余地が限定的 ・原材料・エネルギー高騰に対する価格転嫁・高付加価値化の遅れ				
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	創業・経営塾受講者のうち 創業者数（令和元年度から の累計人数）	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	24 人	現状値 1	18 人	達成率 1	75.0%
KGI達成率に関する総括	創業者数は目標値を下回るものの、一定の実績を確保しており、施策は概ね着実に推移している。				平均達成率	75.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	空き店舗等利活用事業	1,030,000	KGI1	空き店舗等利活用事業利用者延べ件数	件	13	13	100.0%
2	商店街賑わい支援事業	300,000	KGI1					
3	域内起業家育成支援事業	800,000	KGI1	域内起業家育成支援事業参加数（令和元年度からの累計）	人	53	60	113.2%
4	中小企業活性化支援事業	4,000,000	KGI1	創業塾を受講した中小企業活性化支援事業補助金活用者数（令和元年度からの累計）	人	13	12	92.3%
5	創業者フォローアップセミナーの開催	300,000	KGI1	創業者フォローアップセミナー参加者延べ人数	人	15	6	40.0%
6								
7								
8								
施策内事業費計(R8)		6,430,000 円		KPI平均達成率				86.4%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	空き店舗等利活用事業や域内起業家育成支援事業は、これまで一定の成果を挙げており、商工業の基盤強化に寄与している。一方で、人口減少や高齢化による需要縮小、人手不足、観光需要の季節偏在など、地域特有の課題が依然として存在している。令和11年に向けては、こうした課題への対応をさらに進めるため、小規模事業者の投資余力の確保や生産性向上を支援し、持続可能な経営環境の一層の構築を図る必要がある。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	人口減少や高齢化の進行、人手不足、観光需要の季節偏在などにより、市内商工業を取り巻く環境は厳しい状況にある。このため、小規模事業者の経営基盤強化や空き店舗の利活用を進めることは、地域経済の維持・活性化に向け重要な施策であると考えられる。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	急激に進む人口減少社会のなか物価高騰など市内の商工業は厳しさを増すばかりであると推測される。社会問題化されている空き店舗等の利活用事業は疲弊する地域の維持に必要な事業であると思われるため【V】が適当と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	既存事業に係る後継者とのマッチングを商工会と連携しながら推進する。地域外からの後継者とのマッチングを推進する。						

- ◆ 指標・K P I の達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月14日

担当課	農林商工部 商工課			担当者職・氏名		主任 天野 杏奈	
施策名	物産の振興						
施策に取り組む背景	人口減少と高齢化が進む中で、特産品販売及び伝統的工芸品の後継者不足と小規模生産の継続性						
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	山の楽市出展事業者数	KGI2 (名称)	樺細工従事者数	KGI3 (名称)		
	KGI4 (名称)						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	13 人	現状値1	13 人	達成率1	100.0%
	目標値2	66 人	現状値2	71 人	達成率2	107.6%
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	各KGIは概ね達成している。				平均達成率	103.8%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	特産物販売促進対策事業：山の楽市（東京都町田市）	2,600,000	KGI1	山の楽市販売額	千円	8,895	10,711	120.4%
2	物産展等出店支援事業補助金	200,000	KGI1	物産展等出展支援事業補助金を活用した事業者の販売額	万円	600	295	49.2%
3	樺細工振興事業及び伝統工芸品等振興支援事業（補助金）	2,080,000	KGI2	補助金交付事業における伝統的工芸品販売額	万円	610	855	140.2%
				伝統的工芸品生産額	百万円	267	270	101.1%
4	伝統工芸樺細工技能後継者育成事業	1,610,000	KGI2	伝統工芸樺細工技能後継者育成事業対象者	人	1	1	100.0%
5								
6								
施策内事業費計(R8)		6,490,000 円		KPI平均達成率				102.2%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	山の楽市販売額が目標値を上回ったほか、樺細工従事者数の確保、伝統的工芸品生産額の維持、補助金交付事業における販売額の増加など、各事業において着実な成果が認められ、全体として高水準で推移している。一方、特産物販売促進対策事業については、2029年目標の達成に向け、事業者への認知拡大及び出店機会の確保を通じた販売額の向上が課題である。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	市内で生産される農林産物や加工品は地域経済を支える重要な資源である。また、樺細工は国指定の伝統工芸品として文化的価値が高く、地域のアイデンティティを象徴する存在である。これらの生産環境と販売環境を整備・強化することは、地域産業の振興や雇用創出に寄与する重要な施策であると考えられる。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	一次産業の振興に繋がる地場農産物や樺細工などの工芸品は観光地である仙北市の価値や魅力を向上させるものである。山の楽市などの事業においても一定の成果が見られる。今後も継続的な支えが必要と思われるため【V】が適当と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅲ	KPIについて山の楽市販売額ではなく、山の楽市による経済波及効果に係る指標を取り入れ、成果を示す必要がある。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月8日

担当課	商工課			担当者職・氏名	主任 赤上 健	
施策名	強みを活かす企業立地推進と県外採用による企業活動強化支援					
施策に取り組む背景	地域の強みがあるにも関わらず企業誘致に活かされていない。また、市内企業においては、県内人材の採用に特化する環境がある。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	仙北市への転入者数	KGI2 （名称）	仙北市中小企業採用活動支援事業補助金を活用して採用できた人数（累計）	KGI3 （名称）	2026年度以降、市の誘致企業認定を受けた企業の採用者数（累計）

達成水準（KGI）達成率	目標値1	381 人	現状値1	191 人	達成率1	50.1%
	目標値2	1 人	現状値2	0 人	達成率2	0.0%
	目標値3	4 人	現状値3	0 人	達成率3	0.0%
KGI達成率に関する総括	転入数は目標値に対して一定の水準にはあるものの、採用活動支援事業補助金、市の誘致企業認定を受けた企業の採用者数は厳しい結果となった。特に採用活動支援事業補助金の達成については、秋田県主催のあきた就職フェア（東京開催）が見送られたことにより、目標達成が非常に困難な状況にある。幸福度が相対的に低い世代・地域の課題に応じた施策への重点配分や既存事業の見直し・改善を進める必要があると考えている。				平均達成率	16.7%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	企業立地奨励金の交付	8,100,000	KGI1 KGI3	誘致企業認定件数（制度開始からの累計）	件	17	17	100.0%
2			KGI1 KGI3	企業立地奨励認定事業者数（制度開始からの累計）	社	8	9	112.5%
3	中小企業活性化支援事業	40,000,000	KGI1	中小企業活性化支援事業補助金交付件数（令和元年からの累計）	社	61	54	88.5%
4	仙北市中小企業採用活動支援事業	900,000	KGI1 KGI2 KGI3	仙北市中小企業採用活動支援事業費補助金交付件数	社	6	0	0.0%
施策内事業費計(R8)		49,000,000 円		KPI平均達成率				75.3%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	企業立地奨励認定事業については、今後新たに3件の活用見通しがあり、市内への工場・事業所の新設もしくは増設に一定の効果을上げている。また、中小企業活性化支援事業費補助金についても、相談・申請件数が増加傾向にあり、市内で新たな事業を行う方の後押しとなっている。一方で、採用活動支援事業補助金は、秋田県主催のあきた就職フェア（東京開催）が見送られたことにより、目標達成が困難な状況である。若年層の市外流出や市内企業の労働力不足を防ぐために高卒採用支援や誘致企業の採用活動支援の伴走など関係機関や関係団体と密に連携し、企業・人ともに地元定着を促していく取り組みが急務である。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	本施策が目指す「県外人材の獲得」を取り巻く環境は、県主催の県外就職フェア（東京開催）の廃止等により、企業単独でのアプローチが極めて困難な状況となっている。また、課題である「県外人材のミスマッチや早期離職」を防ぐためには、受け皿となる市内企業の労働環境や魅力の向上が不可欠である。 したがって、今後の企業活動強化支援においては、直接的な県外へのアプローチに加え、定着率の高い「県内高卒者等」の地元採用に注力して市内企業の足腰を固めることが重要である。市内企業の「稼ぐ力」と「雇用環境」を底上げしていくことが、結果として県外人材から「働きたい」と選ばれる企業づくり（KGI達成）へと繋がる。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大	○	現状維持		縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	IV	市民意識調査の満足度が「下」となっている。「人手不足の常態化」、「若年層の流出」、「労働力人口の縮小」を改善する取り組みが急務である。総合判定【IV】のとおり、効果が期待できる施策にコストをかけ成果を上げるべきと考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	IV	人材を募集している地元の中小企業と、働く場所を求めている市民とのマッチング状況について調査する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月24日

担当課	上下水道課			担当者職・氏名	参事 佐藤 博範	
施策名	安全な水道の供給					
施策に取り組む背景	人口減少による料金収入の減少及び施設の老朽化による更新費用の増大の中、経営を安定させ、市民生活の基盤となる水道水の安定供給を目指す必要があります。					
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	経常収支比率	KGI2 (名称)		KGI3 (名称)	
	KGI4 (名称)					

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	90.0 %	現状値 1	78.73 %	達成率 1	87.5%
	目標値 2		現状値 2		達成率 2	
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	2024年から2026年までは段階的な料金改定により上昇すると思われるが、それ以降は人口減少により料金収入の減少が続くと思われるため、状況によっては料金改定の再検討が必要となる。また、水道事業の取組などを広報等で周知することで市民の理解を深める必要がある。				平均達成率	87.5%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	水道未普及地域解消事業	147,068,900	KGI1	水道普及率	%	67.9	67.6	99.6%
2	老朽管等更新事業	85,624,000	KGI1	料金回収率	%	80.0	69.4	86.8%
3	水道事業のDX化	0	KGI1	有収率	%	53.7	53.3	99.3%
4								
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	232,692,900 円		KPI平均達成率				95.2%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	未普及地域解消事業における管路整備は国庫財源等の活用により順調に進行している一方、管路整備を実施したにもかかわらず即時加入世帯は一部にとどまっていることから、普及率は漸増しているが目標値に対しては伸び悩んでいる。 卒田地区完成後の未普及地域解消事業は即時加入の意向等を勘案しつつの実施となることから、目標値については見直しが必要と考える。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	水は飲料水としての利用をはじめ市民生活に不可欠なものであり、これを供給する水道事業も重要なものとする。しかし、広大な面積を有する本市において維持管理費の抜本的な削減は困難であることに加え、人口減少等に伴う使用料収入の減少により経営状況は厳しくなっている。このため、管路の新規整備や接続に係る普及啓発により普及率を向上させるとともに、使用料改定等による財源確保とコスト面に配慮した運営に努め財政基盤を確立する。また既設管の老朽化も進行していることから、経営状況も勘案し計画的に更新を行いより安定的な給水確保を図る。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 (部課長等)	II	KPI達成率は良好であるが、経営基盤の強化が課題である。施策の重要性は高く、現状維持の方針で継続することが適当と考える。ただし、経営状況の悪化に対応するため、使用料改定の検討や費用削減の取組を一層推進する必要がある。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	VI	KPI有収率の目標設定を高め、目標達成に向けた取り組みを推進する。 水道未普及地域解消事業については計画の見直しを行う必要がある。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月24日

担当課	上下水道課			担当者職・氏名		総務係長・齋藤	
施策名	持続可能な下水道サービスの提供						
施策に取り組む背景	人口減少等により使用料の減少が進む一方、設備の老朽化等に伴い修繕や将来の長寿命化に多額の財源が必要となり、下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。						
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	経常収支比率	KGI2 (名称)		KGI3 (名称)		
	KGI4 (名称)						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	100.0 %	現状値 1	98.54 %	達成率 1	98.5%
	目標値 2		現状値 2		達成率 2	
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	料金改定により改善は見られるが人口減少による使用料収入の減少傾向が継続しているだけでなく、物価上昇による費用高騰などにより、厳しい現状を再認識した。				平均達成率	98.5%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	管渠整備(R2比使用料増収率)	0	KGI1	使用料増加率（2020年度決算比）	%	14.82	24.34	164.2%
2	ストックマネジメント事業	7,370,000	KGI1	有形固定資産減価償却率	%	24.74	21.19	85.7%
3	企業債償還額を上回らない企業債の発行	-	KGI1	企業債残高減少率（2020年度決算比）	%	-39.21	-32.63	83.2%
4								
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	7,370,000 円		KPI平均達成率				111.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	R5.9.1付けの使用料改定により使用料増収率（R2比）、ストックマネジメント事業による計画的な設備の更新、企業債償還額を上回らない企業債発行により、各数値について概ね達成できている。使用料収入については、人口減少等による減収傾向であるため、さらなる費用縮減や使用料改定の必要性の検証により、引き続き収支改善に取り組む必要があると考える。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	環境衛生の維持、水質保全といった一義的な目的はもとより、ひいては上水道事業における安定的な飲料水等の確保にもつながることから、下水道設備の整備及び維持管理は市民生活を支える重要な社会インフラである。令和5年度の使用料改定により一定の経営改善はなされたものの、人口減少による使用料収入の減少傾向や全国的な物価高騰等の影響を受け、令和7年度決算は再び赤字に転じる結果となった。引き続き費用縮減を図りつつ、人口減少の状況を勘案した料金水準の再検討により安定した経営基盤の実現に努める。また、下水道事業の広域化や分散化についても検討をしていきたい。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 (部課長等)	Ⅱ	KPI達成率は良好であり、施策の重要性も高い。しかし、経営基盤の強化が喫緊の課題であり、使用料改定及び下水道処理方法の検討や費用縮減の取組をより一層推進する必要がある。現状では現状維持の方針で継続することが適当と考えるが、経営状況の悪化に対応するため、以降の料金改定の必要性について検証を進めるべきである。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅵ	コストは抑制しながらも、成果については現状維持。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月24日

担当課	上下水道課			担当者職・氏名		参事 佐藤 博範	
施策名	温泉の安定供給						
施策に取り組む背景	温泉を売りにした観光の継続のため、温泉水を安定的に供給していく必要があります。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	普通供給料（現状維持）	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	2,692.8 千円	現状値1	2,692.8 千円	達成率1	100.0%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	利用者が減少傾向にあり、新規利用者の増が見込めないことから、現状を維持することを目標としている。一方で温泉施設の老朽化が進んでいる状況にあり、温泉を安定的に供給するためには設備更新や維持管理が必要である。				平均達成率	100.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	温泉施設の維持管理	26,749,000	KGI1	契約口数に対する供給率	%	100	100	100.0%
2				供給戸数	戸	42	42	100.0%
3				供給口数	口	132	132	100.0%
4								
5								
6								
7								
8								
施策内事業費計(R8)		26,749,000 円		KPI平均達成率				100.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	利用者の高齢化に加え観光客の減少等により、年々供給口数が減少しており供給料収入も減少傾向にある一方、施設や設備の老朽化が進んでいる状況である。今後、継続的に設備の更新を進める必要が生じる。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	温泉は仙北市の観光産業の中でも重要な売りの1つであり、温泉を目的とした観光客も大勢来ている。一方、温泉設備の老朽化が進んでいる状況となっており、持続可能な温泉の安定供給のためにも温泉施設設備の継続的な更新、維持管理していくことが必要と考えます。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	KPI達成率は100%と良好であり、現状維持の方針で継続することが適当と考える。ただし、供給料収入の減少傾向に対応するため、設備更新に必要な財源の確保についての検討と、観光客の増加に向けた観光部門との連携強化が必要だと考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	施策の在り方について検討が必要。老朽化に対する設備更新が課題として記載されているが、対応に係る指標が設定されていない。目標数値の設定の必要がある。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月17日

担当課	建設課			担当者職・氏名		主任 佐藤 裕花	
施策名	インフラの整備・補修による安全・安心な生活空間の確保						
施策に取り組む背景	交通インフラの老朽化が顕著であり、安全・安心な生活空間の確保のために計画的に維持補修等を行う。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	40.0 %	現状値1	33.8 %	達成率1	84.5%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合（現状値）は、目標値には及ばなかった。しかし、令和7年度実施の市民意識調査では、満足度が「道路網の整備」が27.7%、「交通安全の推進」が32.5%であり、前年に比べて平均して3.7%の上昇となった。（令和8年度は「道路網の整備」と「交通安全の推進」の施策を統合し、本施策名で調査を実施。）				平均達成率	84.5%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	道路新設改良事業	208,800,000	KGI1	健全度Ⅲとした橋梁の補修完了済橋梁数	橋/年	3	2	66.7%
2	道路維持事業	24,000,000	KGI1	路面欠損部補修数量（パッチング）	t/年	240.0	140.5	58.5%
3	交通安全施設整備事業	2,000,000	KGI1	カーブミラー設置数	基/年	5	5	100.0%
4	交通安全施設整備事業	2,700,000	KGI1	区画線施工延長	m/年	7,297	5,446	74.6%
5								
6								
7								
8								
9								
	施策内事業費計(R8)	237,500,000 円		KPI平均達成率				75.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	市民意識調査結果（過去3年）： 満足度 R5:中 R6:下 R7:中 重要度 R5:上 R6:上 R7:上 過去3年の満足度を見ても、満足度は決して高いとは言えないが重要度は毎年高い。道路インフラは成果が市民の目につきやすく、粛々と事業を進めることで市民満足度は上がると考えられる。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	現状の課題や道路、構造物、交通安全施設の状況を精査し、対策を講ずる。橋梁については長寿命化計画に基づき粛々と事業を進める。過年度調査結果より、修繕等を粛々と進めることで市民満足度は上がることから、資材価格の高騰・賃金水準の上昇も考慮した財源の確保が必要である。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 (部課長等)	Ⅱ	道路整備は、市民生活の安全安心に直結する極めて重要な施策である。継続的な整備を着実に進め市民満足度の向上を図るため、資材費や労務費の高騰を踏まえた予算措置により、安定した事業継続が不可欠である。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅱ	コストは維持しながらも、安定した事業継続により市民満足度の向上等、成果向上を図る。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月17日

担当課	建設課			担当者職・氏名		課長補佐・戸堀忠俊	
施策名	公園・緑地の整備						
施策に取り組む背景	市民の憩いや健康増進、防災機能の確保に加え、豊かな自然と景観の保全、観光や地域交流の推進を通じて、まちの活性化に努める。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	30.0 %	現状値 1	25.2 %	達成率 1	84.0%
	目標値 2		現状値 2		達成率 2	
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	子育て世代等が冬でも日常的に安心して使える、管理の行き届いた身近な多目的空間が不足しています。今後はこうした空間を確保・活用するための新たな手法が必要です。				平均達成率	84.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	生保内公園維持管理事業	2,324,410	KGI1	トイレの洋式化	基	2	0	0%
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
	施策内事業費計(R8)	2,324,410 円		KPI平均達成率				0.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	・市民の健康増進に寄与し、運動やリラックスの場として機能しているほか、熱環境の緩和、空気の浄化、生物多様性の保全が行われ、環境の改善に役立つ。 ・適切に維持管理するために継続的な予算と人手が必要であり、どのように維持し活用するのかが重要となる。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	・運動やリラックスの場として、定期的な散歩やジョギングなど野外活動が行える場所を提供することで、心身の健康を促進するほか、地域社会の交流の場や自然と触れ合うことで環境意識を高めたり、地域の歴史や文化に触れる機会を提供することができ、存在は不可欠である。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	公園・緑地の整備は市民生活の質向上に寄与する一方、利用者の減少など維持管理のあり方が課題となっている。市民のニーズに応じつつも及第点となる維持レベルの見極めが必要である。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	VI	健康器具に限らず、子育て環境の整備のため公園の遊具の整備についても検討する必要がある。そのために利用されていない公園の統合、売却等を行う必要がある。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年7月17日

担当課	建設課		担当者職・氏名		主任 佐藤 裕花	
施策名	ハード整備による防災・減災対策と安全対策の強化					
施策に取り組む背景	豪雨などの自然災害が発生している中、市民が安全・安心に暮らすことができる環境づくりを目指す。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	40.0 %	現状値1	35.2 %	達成率1	88.0%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合（現状値）は、目標値には及ばなかった。しかし、令和7年度実施の市民意識調査では、満足度が33.4%であったことから、満足度が少し上がっている結果となった。				平均達成率	88.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	河川維持補修事業	5,420,000	KGI1	浚渫作業河川数	河川/年	2	4	200.0%
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
	施策内事業費計(R8)	5,420,000 円		KPI平均達成率				200.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	浚渫作業は規模にもよるが、例年2河川ほど実施している。令和7年度においては、補正予算等で予算を確保しつつ、4河川を実施した。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	災害の規模を大きくしないためにはハード整備が重要であるがその分コストがかかることから、近年の気象状況や各地区の地理的状況等を勘案しながら、優先度・重要度を決め、効果的に事業を実施する必要がある。優先度・重要度を決める方法についても検討する。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 (部課長等)	Ⅱ	災害頻度が増加する中、防災・減災対策は予防保全の観点から極めて重要である。実害の防止に加え、不安の解消や安全・安心の実感につながる取組として、効果的かつ安定的な事業継続と必要な予算措置が求められる。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅱ	災害が増加する中、防災・減災対策となる浚渫作業を引き続き実施し、成果向上を図る。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月17日

担当課	建設課			担当者職・氏名		課長補佐・戸堀忠俊	
施策名	都市計画の推進と住宅・住環境の整備						
施策に取り組む背景	少子高齢化や空き家の増加などの課題に対応し、都市の機能や地域資源を計画的に活用するとともに、安心して快適な住宅・住環境の整備を進め、市民が暮らしやすい持続可能なまちづくりに努める。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）	入居率（入居者戸数）		KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	25.0 %	現状値 1	29.7 %	達成率 1	118.8%
	目標値 2	100.0 %	現状値 2	90.0 %	達成率 2	90.0%
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	都市計画に対する市民の関心の低さは、大多数が現状に大きな不満を抱いていないことの裏返しであると解釈することもできる。				平均達成率	104.4%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	市営住宅管理運営事業	52,374,000	KGI1・KGI2	ニュータウン塚野腰外壁・屋根塗装工事棟数(全18棟)	棟	12	10	83.3%
2	住宅・建築物安全ストック形成事業	540,000	KGI1	耐震診断（補助）	件	2	2	100.0%
3				耐震改修（補助）	件	1	0	0.0%
4								
5								
6								
7								
8								
	施策内事業費計(R8)	52,914,000 円		KPI平均達成率				61.1%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	・計画が策定されたところで満足度が大きく変わるとは思えない。10年後、20年後の仙北市が継続維持していけるように努めなければならない。 ・市営住宅は主に低所得者向けの住宅となっており、一定の要件を満たさなければ入居はできないため、満足度が上がるような施策とはなっていない。市民意識調査でも満足度は高くない。また、建築から年数が経過している住宅が多く、入居している市民に対しても快適な環境とは必ずしもいえないのが現状。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	・人口減少、少子高齢化社会に対応した都市の形成やインフラの適正管理、行政サービスの維持のために行政コストの低減と人口密度の維持を推し進める必要があり、居住や都市機能施設の誘導を行っていく。 ・住宅の確保の大半は市営住宅の管理運営となるが、市営住宅への入居はハードルが高い部分もあり、住まいを求めている方の希望にそぐわない場合も多い。空き家の利活用や移住・定住につなげるための施策として他課との連携等が必要。立地適正化計画等で住環境整備のあり方についても考えていく必要がある。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	増加傾向にある空き家対策の重要性は今後も増していくと思われる。市営住宅は、低所得者向けの住居確保として継続しつつ適正な住環境レベルの維持が必要である。対象者が限定的であり施策と市民満足度の関係性が薄いのであれば、施策の位置付け、KGI設定の見直しを視野に入れるべき。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	老朽化した市営住宅を除却するとともに入居率100%を目指す。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年7月17日

担当課	建設課			担当者職・氏名		課長補佐・戸堀忠俊	
施策名	自然・歴史的環境の保全と活用						
施策に取り組む背景	美しい町並みや自然景観など、良好な景観に対する関心やニーズが高まるなか、自然や歴史的景観は保全と活用の両立が重要であり、地域資源として守りながら観光や教育に活かすことが求められる。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	50.0 %	現状値 1	42.8 %	達成率 1	85.6%
	目標値 2		現状値 2		達成率 2	
	目標値 3		現状値 3		達成率 3	
	目標値 4		現状値 4		達成率 4	
KGI達成率に関する総括	角館小学校6年生による景観学習なので、KGIには反映されない				平均達成率	85.6%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	景観形成推進事業	598,000	KGI1	景観学習教室参加者	名/年	68	0	0%
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
	施策内事業費計(R8)	598,000 円		KPI平均達成率				0.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	景観学習教室は、令和2年度から6年度まで文化財課の事業であり、7年度より建設課の事業となった。 景観学習教室は、市内の小中学校を対象とした地域の景観について学ぶことを目的とした教育・啓発活動の一つであり、教育学習に絡めた施策として他課で実施したほうが成果が上がる。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中		下	○
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	自然、歴史的環境は観光や地域活性化の核であり、地域の魅力と誇りを支える重要な資源である。一方で保全と活用のバランスや担い手の確保が課題であり、持続的な地域づくりのために戦略的な活用と保護が求められる。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	当市における自然・歴史的環境の保全と活用の両立は極めて重要である。教育や観光、都市整備など多部門にわたる取組であり、関係部署間で事業のねらいを共有することが求められる。市民全体の意識向上に向けた効果的な事業のあり方や推進方法の検討が必要である。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年8月10日

担当課	学校教育課・北浦教育文化研究所			担当者職・氏名		課長 湯澤満	
施策名	未来を担う子どもたちの育成						
施策に取り組む背景	人口減少、少子高齢化が加速する中、人口流出を抑制し、地域社会の未来を担う人材育成に取り組む。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における「18歳以下の子どもがいる市民」の本施策の満足とやや満足の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	20.0 %	現状値1	50.8 %	達成率1	254.0%
	目標値2		現状値2		達成率2	
KGI達成率に関する総括	目標水準を大きく上回っているが、引き続き施策の推進を図る必要がある。施策の説明文を分かりやすく変えたことで設問に答えやすくなったことも一因と思われる。				平均達成率	254.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	キャリア教育・ふるさと学習支援事業※小学校	1,148,000	KGI1	全国学力学習状況調査生徒質問紙「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的回答割合	%	95	92	96.8%
2	ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業※小学校	5,377,000	KGI1					
3	コミュニティ・スクールの推進	1,139,000	KGI1	コミュニティ・スクール導入校の割合	%	100	100	100.0%
4	国際交流事業	2,835,000	KGI1	海外姉妹校訪問事業参加生徒事後アンケート「今後も国際交流へ積極的に参加したい」の回答割合	%	100	100	100.0%
5	キャリア教育・ふるさと学習支援事業※中学校	959,000	KGI1	全国学力学習状況調査生徒質問紙「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的回答割合	%	95	94	98.9%
6	ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業※中学校※再掲のため事業費はゼロで入力		KGI1					
	施策内事業費計(R8)	11,458,000 円		KPI平均達成率				98.9%

◆市民意識調査

満足度	上	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上	○	中		下	
成果・課題等	ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業では、小学生の職場体験、中学生向け企業説明会や地元で活躍する人材を招いてのパネルディスカッション、「仙北市夢百科事典 せんぼく はたらくBOOK」の作成等を実施。全国学力・学習状況調査の質問調査では、子どもたちの地域や社会への貢献度意識が毎年少しずつ向上していることが分かり、本事業の成果の一つと捉えることができる。国際交流事業の海外姉妹校訪問事業参加生徒事後アンケートは令和8年度の訪問後に実施する予定である。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	少子高齢化が加速度的に進んでいる本市において、人口減を食い止め、市の活性化を図ることが急務である中で、ふるさとを愛し、地域社会の未来を支える意欲と高い志にあふれる子どもを育てるために、最優先の施策の一つであると考えている。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	地域の人材を活用した次世代育成およびキャリア教育の取組として、児童生徒の職場体験や企業説明会、パネルディスカッションを開催しており、実際の仕事や働く人の生き方などを学ぶことで、新たな視野、考え方が育まれている。市民意識調査の満足度と全国学力・学習状況調査による地域や社会への貢献度意識の向上を鑑みると、子どもたちが早い段階から地元の産業や人々と関わりを持つことで、ふるさとへの愛着が育まれ、地域貢献や仕事への理解が深まっており、コストおよび手法ともに現状を維持すべき施策と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年8月10日

担当課	学校教育課・学校統合推進室			担当者職・氏名		次長兼室長 若松正輝	
施策名	学校再編の推進と部活動の地域展開						
施策に取り組む背景	生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を実現する。児童生徒数の減少と校舎の老朽化が進んでいることから、将来的な持続可能で望ましい学校の適正配置を行う。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における「18歳以下の子どもがいる市民」の本施策の満足とやや満足の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	35.0 %	現状値1	50.3 %	達成率1	143.7%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	目標水準を上回っているが、引き続き施策の推進を図る必要がある。施策の説明文を分かりやすく変えたことで設問に答えやすくなったことも一因と思われる。				平均達成率	143.7%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	諸工事事業	22,241,000	KGI1	-				
2	維持修繕事業（学校施設の維持）	7,862,000	KGI1	-				
3	中学校部活動指導員配置事業	2,867,000	KGI1	中学校部活動指導員配置校率	%	100	100	100.0%
4	学校適正配置事業	304,000	KGI1	スクールバス台数	台	4	4	100.0%
5				小学校数	校	5	5	100.0%
6				中学校数	校	5	5	100.0%
7								
8								
施策内事業費計(R8)		33,274,000 円		KPI平均達成率				100.0%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）	○	ほぼ達成（中）		未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	令和7年度に学校適正配置計画を策定し、令和8年度からは本計画に基づく学校統合に向けた準備を進めていく。部活動指導員配置事業では、これまでの運動部に加えて令和8年度からは吹奏楽部にも専門性の高い指導員を配置し、技術面や表現面の指導の充実が図られている。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	学校統合は子どもたちの教育環境だけでなく家庭生活にも影響を及ぼすため、児童生徒や保護者の不安を解消し円滑に統合できるよう準備を進める必要がある。部活動の地域展開は子どもの活動機会を将来にわたり確保し、また教員の働き方改革を進める上で重要な施策と考えている。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	少子化により市内の児童生徒数が激減している中、持続可能な学校数の適正配置や統合準備は計画どおり進んでおり、KPIの達成状況も「上」となっている。今後、令和10年度に小学校、令和11年度に中学校の3校統合が控えており、スクールバスの運行計画など様々な調整作業が見込まれる。部活動の地域展開については、地域クラブ活動の創設および持続的・安定的な運営において、財政支援など多くの課題はあるものの、子どもたちの活動機会の確保と教員の働き方改革に向けた重要施策であることから現状維持と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 2026年8月10日

担当課	学校教育課			担当者職・氏名		係長 藤肥寛明	
施策名	ICTを活用した学校教育の充実						
施策に取り組む背景	学校の学びにおいて求められている教育DX、ICT活用などをGIGAスクール構想推進事業により積極的に推進する。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における「18歳以下の子どもがいる市民」の本施策の満足とやや満足の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	37.0 %	現状値1	48.0 %	達成率1	129.7%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	おおむね目標水準に到達しているが、引き続き施策の充実を図る必要がある。施策の説明文を分かりやすく変えたことで設問に答えやすくなったことも一因と思われる。				平均達成率	129.7%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	GIGAスクール構想推進事業 ※小学校	19,996,000	KGI1	全国学力学習状況調査生徒質問紙「ICTを活用した授業の割合（週3回以上）」回答割合	%	85.0	82.8	97.4%
2	GIGAスクール構想推進事業 ※中学校		KGI1	全国学力学習状況調査生徒質問紙「ICTを活用した授業の割合（週3回以上）」回答割合	%	65.0	61.5	94.6%
3								
4								
5								
	施策内事業費計(R8)	19,996,000 円		KPI平均達成率				96.0%

◆市民意識調査

満足度	上	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上	○	中		下	
成果・課題等	市内の小中学校では外国語や算数・数学の授業にデジタル教科書を導入している。外国語では端末の映像を個人のペースで巻き戻しての聞き取りやデータの可視化による使用などで学習効果が上がっており、国や県が求める個別最適な学びの充実につながっている。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	国はICTを個別最適な学びと協働的な学びを両立させるための必要不可欠な学習基盤と位置づけている。不登校や別室登校の児童生徒のオンライン授業、市内の学校同士の合同授業、中学校における台湾姉妹校とのオンライン交流など多岐にわたり活用されており、優先度の高い施策であると考えている。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	市内小中学校ではタブレット端末やデジタル教科書の導入など、ICTを効果的に活用した授業や台湾姉妹校とのオンライン交流などに取り組まれており、児童生徒一人ひとりに最適化された教育環境や学習活動の充実が図れている。成果として、多様な子どもたちを誰一人取り残さない教育が実践されており、市民意識調査での満足度が「上」であることから、重要度および優先度が高い本施策は、現状維持が妥当と思われる。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施するが、KGIの目標数値設定について55%程度まで上げる。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月13日

担当課	生涯学習課			担当者職・氏名		課長補佐兼係長 上野 美田子	
施策名	生涯学習の推進						
施策に取り組む背景	人口減少・少子高齢化が加速する中、若者の市外流出対策として、社会教育充実、学校を核としたコミュニティ形成を図るための事業を推進する。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	30.0 %	現状値1	38.7 %	達成率1	129.0%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	生涯学習に対して一定の評価をいただいたと思うが、施策の文言を分かりやすく変えたことで、設問に答えやすくなったことも一因であると思われる。				平均達成率	129.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	学校・家庭・地域連携総合推進事業・地域学校協働本部	2,895,000	KGI1	学校・家庭・地域連携総合推進事業・地域学校協働本部の周知回数	回	25	10	40.0%
2	二十歳の集い	111,000	KGI1	二十歳の集い参加率	%	82.0	78.4	95.6%
3	勤労青少年ホーム管理運営事業	7,086,000	KGI1	勤労青少年ホーム、外ノ山テニスコート利用者数	人	9,000	9,358	104.0%
4								
5								
6								
7								
	施策内事業費計(R8)	10,092,000 円		KPI平均達成率				79.9%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）		未達成（下）	○
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	No.1の事業に関して、学校の管理職や教職員に対しては学校訪問等でこの事業の趣旨の周知が進んでいる。市民に対しての周知は広報紙だけでなく仙北市HPや各公民館での掲示等、デジタルアナログ両方で周知していく。No.3の事業に関しては、人口減をふまえ利用者数の現状維持に努めたい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	地域では「学校を核とした地域づくり」により人のつながりができ地域の活性化が図られる。学校では「地域とともにある学校づくり」により地域の力を借りて地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることができ、また教職員の働き方改革にもつながる。学校統合を控え、将来の地域づくり、学校づくりのためにもこの事業はさらに重要になると考える。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	No.1の事業は学校や地域住民に浸透しつつあり、子どもたちが地域とつながるきっかけとなっているため、本来であれば【IV】の評価と考える。No.2については、若者に仙北市の魅力を発信するための場となるため、現状維持が妥当である。No.3については若年層の利用も多く、施設の老朽化はあるものの、代替する運動施設が角館地区に少ないため、現状維持が妥当と考える。コスト面を考えると事務所管理を直営にするなど、委託料の見直しを図るべきと考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	施策の重要度判定が「下」となっていることから、施策内容等について、広報等を活用し更なる周知を図る。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月23日

担当課	中央公民館			担当者職・氏名		主任 後藤 優笑	
施策名	多様な教育文化の交流の場づくり（各公民館）						
施策に取り組む背景	人口減少・少子高齢化が加速する中、市民の幸福度向上の施策として、生きがいを持って市民が豊かに暮らし、誰もが生涯にわたって学び続ける教育の実現に取り組む。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	30.0 %	現状値1	38.6 %	達成率1	128.7%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	市民意識調査では、目標値を上回る高い満足度を得ることができた。この水準を維持しながら、さらなる幸福度の向上を図るため、既存事業の見直し・改善を進める。				平均達成率	128.7%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	公民館活動推進事業	2,183,000	KGI1	若者向けメニュー講座件数	件	10	10	100.0%
2			KGI1	若者向けメニュー講座参加者人数	人	320	293.0	91.6%
3			KGI1	講座参加者人数	人	1,600	1,491	93.2%
4	仙北市文化祭の開催	306,000	KGI1	文化祭来場者人数	人	1,600	1,251	78.2%
5								
6								
7								
施策内事業費計(R8)		2,489,000 円		KPI平均達成率				90.7%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	公民館活動推進事業については、各公民館ともに工夫を凝らした学習内容を実施し、参加者からも好評を得ている。課題としては、新規受講者の獲得や若者世代の参加率の向上が課題となるため、SNS等も利用し周知方法を検討する。文化祭については、来場者は年々増えつつあるが、一方で出展数が伸び悩む傾向にある。文化祭の開催内容を検討するとともに創作意欲を高めるため、生涯学習の充実が課題となる。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	心の豊かさを育む生涯学習は、市民の幸福度向上と密接につながっている。各公民館では市民ニーズを把握しつつ、特色ある多様な講座を開講しており、新規受講者の拡大にも取り組んでいる。文化祭については、市民の学習成果の発表の場であり、創作活動への参加意欲を高め、芸術文化の振興発展に寄与しているため、施策の重要度は高いと考えている。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	生きがいを持って活動できる環境の充実は、幸福度向上につながる重要施策である。各種事業の実施にあたっては、毎年度ニーズ把握と改善を続けており、新規受講者の拡大、とりわけ若者向けメニューの講座数、参加者数は増加傾向にある。引き続き充実を図りたい。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	施策の重要度判定が「下」となっていることから、市民に対する周知・広告の更なる推進を図る。若者向けメニューの増加について検討する。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年8月14日

担当課	仙北市民会館		担当者職・氏名		信田 昌史	
施策名	多様な教育文化の交流の場づくり（市民会館）					
施策に取り組む背景	人口減少・少子高齢化が加速する中、市民の幸福度向上の施策として、生きがいを持って市民が豊かに暮らし、誰もが生涯にわたって学び続ける教育の実現に取り組む。					
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査「仙北市内の市民会館、美術館等で芸術鑑賞や芸術活動をした」割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）	
	KGI4 （名称）					

達成水準（KGI）達成率	目標値1	30.0 %	現状値1	18.6 %	達成率1	62.0%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括	目標値と現状値に開きがあることから、リピーターはもちろんのこと、新規の掘り起こしを行えるような企画を考える必要がある。				平均達成率	62.0%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	市民会館自主事業	1,598,000	KGI1	自主事業実施数	回	10	8	80.0%
2				来館者数	人	9,000	7,777	86.4%
3				利用率	%	60	45	75.0%
4								
5								
6								
7								
施策内事業費計(R8)		1,598,000 円	KPI平均達成率					80.5%

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	市民会館自主事業では、自衛隊音楽隊コンサート、ロビーコンサートも市民に浸透しているほか、ロビーを活用したeスポーツイベント等の定着により若年層へのアプローチが成功している。また、市制20周年記念事業として明治大学の応援パフォーマンスやDRUM TAO公演を行うことにより来館者の増にもつながった。空調設備の不具合でR8年度は貸館を含め市主催事業も少なくなっており、通常通りの使用ができていない。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	仙北市民会館は市民の多様な文化芸術の創造活動を支援できる環境を整備し、誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流を行える場を提供できる環境を整えることが市民の幸福度につながると考えている。現在、空調設備の不具合が出ており、利用者に不便が生じている。安心・安全に使用していただくため、また文化芸術の継承と創造の場としての利用に不便がないよう、空調設備、吊物設備、音響設備の中規模な改修を何年かに分け、計画的に行うことで維持管理を行っていくことが今後重要であるとする。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	市民の幸福度に寄り添う事業展開に努めており、少しでも市民会館や田沢湖図書館に市民の足が向くような事業のアプローチをし、改革に力を尽くしている。引き続き、市民の多様な教育文化活動を推進するためには、市民会館の存続が重要となり、持続可能にするためにも、建物の維持管理の問題を早急に解決されたい。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	VI	利用料金の値上げについて検討するが、市民の利用については減免するなどの対応を検討する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

令和8年7月16日

担当課	学習資料館・田沢湖図書館			担当者職・氏名		館長補佐 明平裕子 係長 石川貴久子	
施策名	読書活動の推進						
施策に取り組む背景	人口減少・少子高齢化が加速する中、市民の幸福度向上の施策として、日々の暮らしに生きがいを感じられるように読書環境の充実、読書活動の推進に取り組む。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	市民意識調査「読書活動の推進」満足度の向上 満足・やや満足の合算値	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	38.0 %	現状値1	39.2 %	達成率1	103.2%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
KGI達成率に関する総括	読書活動の推進施策を通じて、当初設定したK G Iを達成するに至った一方で、高齢化の進展に伴うニーズの多様化に対応するために、他機関との連携体制の構築とそれを実現するための実務を担うマンパワーの維持が必要となる。				平均達成率	103.2%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	学習資料館利用促進事業	12,646,000	KGI1	来館者数	人	35,000	34,717	99.2%
2	図書館サービス拡充事業（田図）	22,482,000	KGI1	来館者数	人	22,000	17,356	78.9%
3	学校図書館支援事業	12,743,000	KGI1	児童1人当たり貸出冊数	冊	15.00	11.07	73.8%
4	図書館情報システム管理運営事業	5,032,000	KGI1	学習資料館貸出人数	人	10,000	9,173	91.7%
5				13～59歳における利用者数の割合（田図）	%	10.00	6.84	68.4%
6	学習資料整備事業（学資）	4,913,000	KGI1	住民1人当たり貸出冊数	冊	2.50	2.32	92.8%
7	図書資料購入事業（田図）	3,003,000	KGI1	児童書貸出冊数（学資）	冊	2.50	2.32	92.8%
8	子ども読書活動推進事業	65,000	KGI1	児童書貸出冊数（学資）	冊	6,700	7,621	113.7%
9				児童書貸出冊数（田図）	冊	5,800	5,572	96.1%
	施策内事業費計(R8)	60,884,000 円		KPI平均達成率				89.7%

◆市民意識調査

満足度	上	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上	○	中		下	
成果・課題等	少子高齢化の進行や、クマの出没、大雪といった相次ぐ環境変化の影響を受け、K P Iの多くは目標値に達することはできなかったが利用者ニーズに合った選書や環境整備を継続して行ったことで満足度が維持されたと考えられる。市民のライフステージが変化しても継続して利用できるよう、各世代に合った情報発信や読書環境整備が引き続き必要である。またこれらの高度化する事業の質と安定性を堅持するためには、現行の会計年度任用職員数を確保することが必要である。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 （主管課の考え方）	高齢社会である仙北市で、利用者が長期間定期的に図書館を利用できるような環境とサービスが必要である。また、利用が大きく減少する年代にアピールする情報発信と環境整備、サービス構築も同様であり、それらを維持するためには、業務を熟知し専門性を持った職員の存在が必要不可欠である。子どもたちや親子向けサービスの継続は、将来の市民幸福度の観点からも重要である。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 （部課長等）	V	近年の想像を超えた環境変化（クマの出没、酷暑、大雪等）が図書館利用者数の減少等に少なからず影響を及ぼしているとはいえ、満足度が維持されていることから、今後も市民が変わらずに図書館を利用できるようすべての事業継続について現状維持が望ましいと考え、評価は「V」としたい。						
二次評価 （市長・副市長・教育長）	Ⅲ	コストについては抑制しながらも、市民意識調査での施策重要度が「下」となっていることから、市民への周知など成果の向上を図る。						

- ◆ 指標・K P Iの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年8月14日

担当課	学習資料館・イベント交流館・平福記念美術館		担当者職・氏名		館長補佐 明平裕子・美術館長 小松亜希子	
施策名	地域に根ざした文芸、美術作品の充実と周知					
施策に取り組む背景	コロナ禍を経て人の流れが変化し集客が厳しく市の財政も逼迫しているなか、限られた予算でいかに魅力的な展示を行うかが大事。それに併せて効果的な周知の方法を考えることや観覧料以外の収入源を作ることも必要。					
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	市民意識調査「地域に根ざした文芸、美術作品の充実と周知」満足度の向上 満足・やや満足の合算値	KGI2 (名称)		KGI3 (名称)	

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	31.0 %	現状値 1	36.4 %	達成率 1	117.4 %
KGI達成率に関する総括	市民意識調査の間20「あなたは、仙北市のまちづくりについて、どのように感じていますか？」の当施策に対する回答「わからない」36.4%という数値を少しでも減らすことを目標とする。				平均達成率	117.4 %

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	イベント交流館展示事業	1,158,000	KGI1	入館者数（イベント交流館）	人	3,000	2,541	84.7 %
2	美術館常設・企画展示事業	1,303,000	KGI1	入館者数（平福記念美術館）	人	8,600	9,484	110.3 %
4				修復作品数（美術館）	点	3	2	66.7 %
3	児童生徒県南美術展開催事業	315,000	KGI1	児童生徒県南美術展入館者数	人	2,900	2,778	95.8 %
5				企画展宣伝回数（美術館）	回	8	8	100.0 %
	施策内事業費計(R8)	2,776,000 円		KPI平均達成率				91.5 %

◆市民意識調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中	○	下	
成果・課題等	【イベント交流館】限られた予算の中、R7年度は館藏品展を開催し費用を抑制した。旧制角館中学創立100周年に合わせた「百穂とアララギの歌人たち」河正雄氏による文学顕彰碑寄贈に合わせ「綴られた記憶Ⅰ・Ⅱ」を開催したが、熊の出没や大雪の影響を受け入館者は減少した。R8年度は目玉企画として「塩野米松のいのちわくわくおはなし絵本展」を開催。5人の著名な絵本作家の原画やゲラ刷り、ラフ画などを展示し子どもから大人まで楽しめる作品を展示し、塩野米松氏と村上康成氏のトークイベントも実施した。クマの出没状況が入館者数に大きく影響することが課題である。 【平福記念美術館】R7年度の常設・企画展示開催事業は限られた予算の中で、穂庵・百穂の水墨画展、仙北市出身の現役写真家の展示、旧制角館中学創立100周年記念展など地域に因んだ展覧会を開催したが、市民入館者数がR6年度より減少。有料入館者数はR6年度より増えたがコロナ禍以前の収入にはまだ届いていない。SNS等の活用で企画展の周知等の更なる努力が必要。観光部署等とも連携し、農山村民宿等への周知も行うようにする。近年増加している寄贈作品を展示で活用するために作品修繕費の確保は必須。児童生徒県南美術展に関しては令和7年度は学校からの出品数が増え、その影響が入館者数が増加。今後人口減少に伴う学校統合等で出品数の減少が予想されるため、出品数の一定数の確保が課題。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中		下	○
施策の重要度 (主管課の考え方)	【イベント交流館】新潮社と創設者の佐藤義亮を顕彰する大切な施設である。義亮をはじめ郷土の文人、先人を紹介し後世に伝えるという役割も担っている。それに加え近年は地元出身の絵本作家の企画展などを通じて、大人のみならず子どもも楽しめる企画展を開催している。ひとことノートで入館者の感想によりニーズを把握し、館藏品展と目玉企画双方の実施により市内外の入館者増に努めることはもちろん、絵本、書籍等の販売による収入の増に努めることも必要と考える。SNS等を活用する等宣伝回数を増やし当館を知ってもらい、市民意識調査でのわからないという回答を減らす努力をする。 【平福記念美術館】県内で市立の美術館は秋田市と仙北市だけという点からも、当美術館の存在意義は大いにあり、「平福記念美術館」だからこその展示（地域に根ざした郷土作家に焦点を当てた展示、市とゆかりのある現役作家の展示等）を継続していくことは仙北市の文化を守っていく上で必要な施策であると考え。館内での来館者アンケートの結果を踏まえ、より魅力ある展覧会を企画・開催し、有料入館者数の増加を図るとともに、販売物の収入増加に努め歳入を増やしたい。市民意識調査の重要度が「下」だからと言って、社会教育施設の事業を縮小化させることは、さらに市民の文化に対する誇りや意識を衰退させることになると考える。そうならないために社会教育施設の事業存続は必要不可欠である。市民意識調査の間20「あなたは、仙北市のまちづくりについて、どのように感じていますか？」のこの施策に対する回答「わからない」36.4%という数値を少しでも下げることを目標とする。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	KGI・KPIは全体としてほぼ達成しており、地域に根ざした展示事業等に一定の成果が認められる。一方、市民意識調査の重要度は引き続き「下」であり、市民の利用促進と施設の役割の周知が課題である。現行の予算・事業規模を基本に、所蔵品を活用した企画展や関係部署と連携した効果的な広報を継続し、郷土の文芸・美術に親しむ機会を確保していくことが妥当と考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅲ	コストについては抑制しながらも、市民意識調査での施策重要度が「下」となっていることから、市民への周知など成果の向上を図る。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日

2026年8月5日

担当課	総合給食センター			担当者職・氏名		所長補佐 畑 英徳	
施策名	学校給食による食育の推進						
施策に取り組む背景	学校給食の食育における役割は非常に大きく、児童生徒等に必要な栄養の摂取のみならず、地元食材消費にも寄与する安心安全な給食提供に努める。						
達成水準（KGI）	KGI1 （名称）	地場産食材使用率（重量） ※県主要15品目の割合	KGI2 （名称）		KGI3 （名称）		
	KGI4 （名称）						

達成水準（KGI）達成率	目標値1	35.0 %	現状値1	22.8 %	達成率1	65.1%
	目標値2		現状値2		達成率2	
	目標値3		現状値3		達成率3	
	目標値4		現状値4		達成率4	
KGI達成率に関する総括					平均達成率	65.1%
秋田県食育推進計画目標値						

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 （単位：円）	達成水準 （KGI）	指標（KPI）				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	地場産食材の使用回数増強事業	96,109,000	KGI1	地場産食材の使用回数	回	146	144	98.6%
2								
3								
4								
5								
6								
7								
施策内事業費計(R8)		96,109,000 円		KPI平均達成率				98.6%

◆市民意識調査

満足度	上	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上	○	中		下	
成果・課題等	生産農家の減少、異常気象等の影響により地場産食材の生産量が減少し、目標値に達していない。 地元農家の高齢化に伴う離農等の理由により、必要な野菜等の種類及び出荷量が減少していくことが懸念されるため、ＪＡの園芸担当者と連携を図り、生産者の新規開拓を行う。 また、令和6年度実績は30.5%と目標値に迫ったが、献立の内容により使用量が増減するため、栄養教諭と地場産の出荷時期に合わせた献立にするなど、調整を行う。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上		中	○	下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	義務教育課程で提供される給食については、必要な栄養素の摂取、地場産野菜を使用することによる食育の観点から、非常に重要と考えられる。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	地場産を使用することは児童生徒の郷土を愛する心を育む良い機会となり、学校給食を通じて仙北市の農業を学習する教育的効果も期待できる。市民の満足度が高く、重要施策と位置づけていることから、コスト・成果ともに維持すべきと考える。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	V	今後も引き続き施策を実施する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年 7月23日

担当課	医療局 医療管理課・経営戦略室		担当者職・氏名		主任 新山 大将	
施策名	役割・機能の最適化と連携の強化及び2つの市立病院の再編統合による組織改革					
施策に取り組む背景	病院事業の資金不足の解消に向けて、改善策に着実に取り組む必要がある。					
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 (名称)	患者満足度調査（入院・外来）	KGI3 (名称)	資金不足比率20%以下

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	30.0 %	現状値 1	27.9 %	達成率 1	93.0%
	目標値 2	90.0 %	現状値 2	88.7 %	達成率 2	98.6%
	目標値 3	12.4 %	現状値 3	55.0 %	達成率 3	22.5%
KGI達成率に関する総括	目下最重要目標である資金不足比率の改善については、患者数及び診療単価の減による収益減やさらなる賃上げによる支出増を主因とした赤字幅の拡大により、目標値に対する達成率が悪化している。令和8年3月に策定した経営健全化計画に沿って、収益増とコスト削減の両輪に加え病院事業の再編統合による機能最適化を行い改善を目指す。 他方、市民及び患者満足度の目標未達成については、アンケート等で多く指摘されている医療スタッフの待遇や、待ち時間の長さ等診療体制に関する課題によるものが主な要因と分析する。待遇についてはクレーム事例の共有徹底や研修の実施等により質的改善を図っていくほか、診療体制についても業務の見直し・効率化や医療DXの検討・導入を行う等利便性向上に向けた取組を進めていく。 KGI1の市民意識調査においては「わからない」といった回答も一定数目立っている。今後の病院改革の進め方や様々な取組等、住民説明会の開催や広報への情報掲載を積極的に行うことで、これまで以上に関心を持っていただくよう努めていく。				平均達成率	71.4%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標 (KPI)				
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率
1	秋田大学との連携	9,000,000	KGI1・2・3	入院患者数（1日平均）※ 角館	人	135.0	135.9	100.7%
				外来患者数（1日平均）※ 角館	人	435.0	409.6	94.2%
2	大曲厚生医療センターとの連携強化	-	KGI1・2・3	入院患者数（1日平均）※ 角館	No.1に同じ			
			外来患者数（1日平均）※ 角館					
3	田沢湖病院と角館総合病院の連携強化	-	KGI1・2・3					
4	近隣病院、派遣元病院との連携強化	-	KGI1・2・3	入院患者数（1日平均）※ 田沢湖	人	48.0	37.5	78.1%
				外来患者数（1日平均）※ 田沢湖	人	115.0	90.7	78.9%
				入院患者数（1日平均）※ 角館	No.1に同じ			
				外来患者数（1日平均）※ 角館				
5	（田沢湖病院）県南医療圏には自院しかない障害者施設等一般病床の優位性を積極的にPRするなど集患対策の強化	-	KGI3	入院患者数（1日平均）※ 田沢湖	No.4に同じ			97.5%
				診療単価（入院）※田沢湖	円	24,400	23,790	
6	（田沢湖病院）玉川温泉との連携強化	-	KGI1・2・3	外来患者数（1日平均）※ 田沢湖	No.4に同じ			
7	（田沢湖病院）医療MaaSの活用	-	KGI1・2・3	外来患者数（1日平均）※ 田沢湖	No.4に同じ			98.9%
				診療単価（外来）※田沢湖	円	7,500	7,420	
8	（角館総合病院）地域包括ケア病床の入院料1（上位施設基準）取得、外来診療体制の再編	-	KGI3	診療単価（入院）※角館	円	40,600	40,351	99.4%
				診療単価（外来）※角館	円	10,000	10,510	105.1%
9	（角館総合病院）薬剤管理指導の推進	-	KGI1・2・3	診療単価（入院）※角館	No.8に同じ			
10	（角館総合病院）検診・人間ドック枠の拡充	-	KGI1・2・3					
11	（角館総合病院）玉川温泉との連携強化	-	KGI1・2・3	外来患者数（1日平均）※ 角館	No.1に同じ			
12	（角館総合病院）接遇等に係る院内巡回によるチェック	-	KGI1・2・3	患者等クレーム件数	件	10	0	0.0%
13	（角館総合病院）医療MaaSの活用	-	KGI1・2・3	外来患者数（1日平均）※ 角館	No.4に同じ			
			KGI1・2・3	診療単価（外来）※角館	No.8に同じ			
14	統合病院の開設	-	KGI3					
15	田沢湖病院の入院病床の休止	-	KGI3					
	施策内事業費計(R8)	9,000,000 円		KPI平均達成率				83.6%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	角館総合病院では、在院日数の長期化の影響もあり入院診療単価が漸減している一方、入院患者について現時点では当初の目標を達成できている状況にある。職員間で危機的な経営状況が共有されていることもあり、患者増に向けた積極的な取り組みを実施していることが好影響を及ぼしているものと分析する。令和8年度診療報酬改定も踏まえ積極的に新規加算の取得を進めるとともに、さらなる集患対策として近隣施設や急性期拠点病院との連携強化等を推進していく。 他方田沢湖病院については、施設における患者要件の問題や周辺地域の急速な人口減等もあって集患がなかなか進まない状況にある。令和10年度には再編統合による入院機能の休止を想定しているところではあるが、可能な限り赤字幅を縮小するためにも引き続き集患に取り組む必要がある。 今年度の患者クレーム件数は現時点で目標を達成できてはいるものの、スタッフ対応の問題について依然として多くの意見が寄せられている。そのため、いわゆるサイレントクレーマーの存在も意識しながら、継続して接遇改善に努めていかなければならないと考えている。また、病院の様々な取り組み、魅力などに関するPR活動の強化が必要であると捉えている。市広報やホームページ等のコンテンツを最大限活用しながら、イメージアップを図っていく。 来年度に向けては、策定済の経営健全化計画との整合性を取るべく、KPI設定の見直しを実施したい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上	○	中		下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	仙北市全体で見ても病院経営に関する課題は最重要事項の一つであると考え。病院事業の破綻を防ぎ、かつ持続可能な地域医療を実現させるためにも、経営健全化計画に基づく早急の経営改革を推進していくことが至上命題であると強く認識する。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大	○	現状維持		縮小	
一次評価 (部課長等)	Ⅱ	施策および市民意識調査も重要度はともに上であり、経営健全化計画に基づく持続可能な医療体制の構築が重要である。課題にある通り、経営健全化計画との整合性をとったKPIの見直しも必要と考えます。医療と介護が連携し地域を支えている実態についても位置づけていただきたい。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅲ	病院事業経営健全化計画を着実に実行する。						

- ◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）
- ◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。
- ◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。

令和8年度 施策評価シート

◆施策の概要

記入年月日 令和8年 7月23日

担当課	医療局 医療管理課・経営戦略室		担当者職・氏名	主任 新山 大将		
施策名	医師・看護師等の確保と働き方改革の推進及び職員の適正配置					
施策に取り組む背景	持続可能な医療体制の構築に向けて医療人材の確保や設備の更新に努める必要がある。					
達成水準（KGI）	KGI1 (名称)	市民意識調査における本施策の「満足」と「やや満足」の割合	KGI2 (名称)	患者満足度調査（入院・外来）	KGI3 (名称)	資金不足比率20%以下

達成水準（KGI）達成率	目標値 1	30.0 %	現状値 1	26.4 %	達成率 1	88.0%
	目標値 2	90.0 %	現状値 2	88.7 %	達成率 2	98.6%
	目標値 3	12.4 %	現状値 3	55.0 %	達成率 3	22.5%
KGI達成率に関する総括	目下最重要目標である資金不足比率の改善については、患者数及び診療単価の減による収益減やさらなる賃上げによる支出増を主因とした赤字幅の拡大により、目標値に対する達成率が悪化している。令和8年3月に策定した経営健全化計画に沿って、収益増とコスト削減の両輪に加え病院事業の再編統合による機能最適化を行い改善を目指す。 他方、市民及び患者満足度の目標未達成については、アンケート等で多く指摘されている医療スタッフの接遇や、待ち時間の長さ等診療体制に関する課題によるものが主な要因と分析する。接遇についてはクレーム事例の共有徹底や研修の実施等により質的改善を図っていくほか、診療体制についても業務の見直し・効率化や医療DXの検討・導入を行う等利便性向上に向けた取組を進めていく。 KGI1の市民意識調査においては「わからない」といった回答も一定数目立っている。今後の病院改革の進め方や様々な取組等、住民説明会や広報への情報掲載を積極的に行うことで、これまで以上に関心を持っていただくよう努めていく。				平均達成率	69.7%

◆課題を解決するための手法及び事業

No.	名 称	R8事業費 (単位：円)	達成水準 (KGI)	指標（KPI）					
				名 称	単位	R8目標値	現状値	達成率	
1	医師、看護師等を目指す人材育成	-	KGI1・2・3	医師数 ※田沢湖	人	5	4	80.0%	
				医師数 ※角館	人	19	17	89.5%	
				看護師数 ※田沢湖	人	35	35	100.0%	
				看護師数 ※角館	人	136	133	97.8%	
2	看護師等修学資金貸与制度の推進	0	KGI1・2・3	看護師数 ※田沢湖	No. 1に同じ				
				看護師数 ※角館					
3	秋田大学への寄附講座の設置	9,000,000	KGI1・2・3	医師数 ※角館	No. 1に同じ				
4	職員やりがい度調査実施	-	KGI1・2・3	職員やりがい度調査 ※田沢湖	%	80.0	73.1	91.4%	
				職員やりがい度調査 ※角館	%	80.0	76.3	95.4%	
	施策内事業費計(R8)	9,000,000 円		KPI平均達成率					92.3%

◆市民意識調査

満足度	下	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト・手法判定

判定	指標（KPI）の達成状況	達成（上）		ほぼ達成（中）	○	未達成（下）	
	市民意識調査での満足度	上		中		下	○
成果・課題等	医師確保については、大学医局の状況や秋田県全体での医師不足問題という面もあり厳しい状態となっている一方で、秋田大学への寄附講座設置による総合診療医の育成・確保の継続に加え、令和8年度からは秋田大学学長の本市病院事業アドバイザー就任によるバックアップ体制強化も図っている。 看護師についても一定数の確保が必要と認識しているが、他方で、資金不足比率を是正するために経営改善を早急に行うことが不可欠である現状においては、高い人件費比率を考慮して退職不補充等による人員数の縮小を図っていくこととする。 来年度に向けては、策定済の経営健全化計画との整合性を取るべく、KPI設定の見直しを実施したい。						

◆重要度判定

判定	施策の重要度(市の考え)	上		中	○	下	
	市民意識調査での重要度	上	○	中		下	
施策の重要度 (主管課の考え方)	非常勤医頼みとなっている現状の体制は、同時に高コスト体質化を招く要因となっている。これを改善するためにも、常勤医師の確保に向けて継続的に取り組んでいく必要がある。しかし、看護師等医療スタッフについては、経営状況の悪化によるコストの抑制や将来の再編統合の実施を見据えて、全体的に人員数を縮小させなければならないことから、これまでのように増員ありきの施策実行は困難であると考えている。						

◆総合判定

判定	コスト・手法		拡大		現状維持	○	縮小	
	重要度		拡大		現状維持	○	縮小	
一次評価 (部課長等)	V	経営健全化計画に基づき機能最適化の推進を図っていただきたい。医師の確保は県内でも医師不足問題があり厳しい課題である。医療スタッフの接遇については、事例の共有はスタッフの意識向上につながると思われる。診療体制においても業務の見直しや効率化に加え、医療DXの活用における利便性の向上に向けた取組を進めていただきたい。						
二次評価 (市長・副市長・教育長)	Ⅲ	病院事業経営健全化計画を着実に実行する。						

◆ 指標・KPIの達成状況：100.0%以上（達成）、80.0%以上（ほぼ達成）、80.0%未満（未達成）

◆ 市民意識調査の満足度・重要度：加重平均の±0.2を「中」とする。

◆ 施策の重要度（市の考え）は、任意で上・中・下を選択し、市民意識調査を踏まえた上で主管課の考えを記載。